

国分寺市新庁舎建設 基本設計説明書

令和4年1月

国分寺市

目次

1. 基本設計の考え方	P2
2. 計画概要	P3
3. 階層計画	P4
4. 配置計画	P5
5. 平面計画(各室計画)	P6
6. 断面計画	P10
7. 立面計画	P11
8. 環境計画	P13
9. 防災計画(災害対策)	P14
10. 構造計画	P15
11. ユニバーサルデザイン計画	P16
12. サインデザインの考え方	P17
13. 執務環境計画	P19
14. 電気設備計画	P21
15. 機械設備計画	P22
16. 昇降機計画	P23
17. 外観立面パース	P24

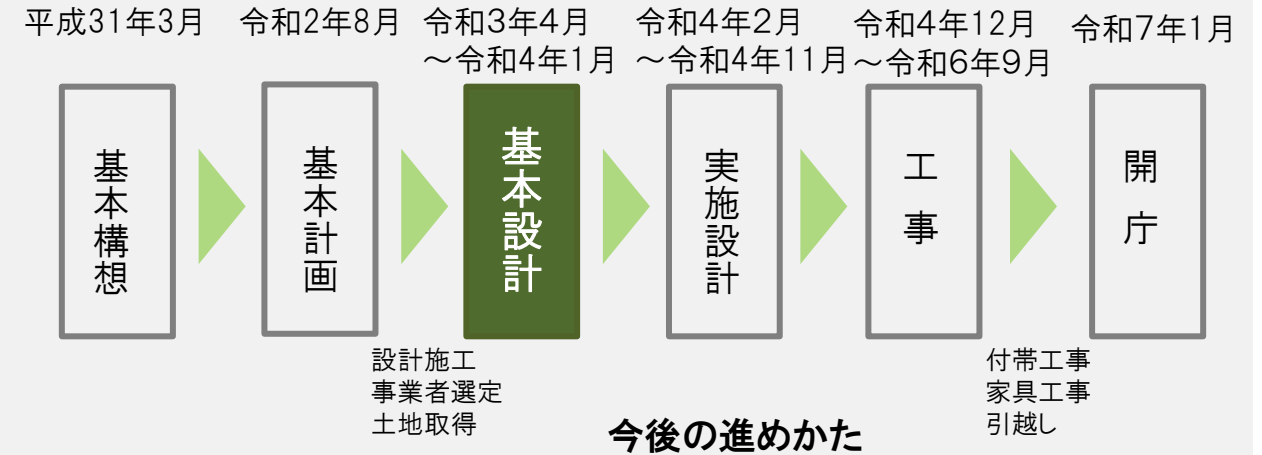
1. 基本設計の考え方

新庁舎建設の経緯

はじめに

平成31年3月策定の「国分寺市新庁舎建設基本構想」 令和2年8月策定の「国分寺市新庁舎建設基本計画」を踏まえ、基本設計は、新庁舎の「基本理念」および新庁舎の「基本方針」の実現を目指し、備えるべき機能の検討の具現化に向けて検討を進めてまいりました。

検討の中では、令和3年4月の市民説明会、令和3年10月の市民懇談会などでいただいた市民の皆様のご意見を参考にしております。



新庁舎の「基本理念」

暮らしと命の支えになる	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎は、日常的に生活全般に及ぶ相談、支援機能の充実をはかり、市民の安全・安心を支えます。 また、市の財政に配慮しつつ、将来に対応できる施設とします。 予期せぬ災害にも市民の生命・財産を守る災害対策拠点として、万全の備えを図っていきます。
市政が身近になる	<ul style="list-style-type: none"> 地方分権、市民協働がより重視される時代に、基礎自治体である市役所の役割はますます重要になります。 日常生活に直結する市政について、もっと多くの市民が係わり、市政が身近に感じられるよう努めていきます。
国分寺の心を育む	<ul style="list-style-type: none"> 国分寺市は武蔵国の中心的役割を果たした歴史あるまちです。 国分寺崖線は区部につながる都の代表的自然資源です。 これら国分寺の特徴を誇りにして暮らす、市民の思いを活かしながらまちづくりの視点を持って検討を進めます。

「国分寺市新庁舎建設基本構想」

新庁舎の「基本方針」

庁舎像	計画姿勢
“頼りがいのある”	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策拠点として、災害時の事業継続計画(BCP)に配慮し、どんなときでも対応できる万全の性能と機能を確保します。
“無駄のない”	<ul style="list-style-type: none"> 長期の使用を踏まえ、建設費、運用費などを見定めながら、無駄のない性能や仕様を確保します。
“利用しやすい”	<ul style="list-style-type: none"> 市民、職員などが、快適な中にも利用しやすく使いやすい、ワンストップサービス等を視野に入れたサービスと空間を確保します。
“開かれた”	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民が、市政に対し関心の持てる雰囲気づくりに配慮し、触れられる場、交流の図れる場を確保します。
“愛着の持てる”	<ul style="list-style-type: none"> 国分寺らしいデザインに配慮し、市民・職員の思いが盛り込まれた、皆が誇れる庁舎を確保します。
“調和の取れた”	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境や周辺市街地と調和し、エコロジーを踏まえた機能を確保します。

「国分寺市新庁舎建設基本構想」

新庁舎に備えるべき機能の具現化

1. 防災機能	<ul style="list-style-type: none"> □ 防災拠点としての安全性の確保…………… (10.構造計画 P15) □ 災害発生時の庁舎機能維持(BCP)対策の徹底・エネルギー多重化…………… (9.災害対策 P14)
2. 市民サービス機能	<ul style="list-style-type: none"> □ アクセスしやすさに配慮した、わかりやすかつ使いやすい窓口機能…………… (5.平面計画 P6) □ 市民が集いやすい開かれた庁舎を実現する機能…………… (5.平面計画 P6) □ 市民に永く愛される、国分寺らしい庁舎…………… (5.平面計画 P6)
3. 執務機能	<ul style="list-style-type: none"> □ 時代・ニーズの変化に対応できる可変性能の高い機能の実現…………… (13.執務環境計画 P19) □ 業務効率・市民サービス向上に繋げる、行政執務環境整備…………… (13.執務環境計画 P19)
4. 環境対応機能	<ul style="list-style-type: none"> □ 自然エネルギーを積極的に活用し、環境負荷を低減…………… (8.環境計画 P13) □ CASBEE-Sランク, ZEB Readyの認証取得…………… (8.環境計画 P13)
5. 建物機能	<ul style="list-style-type: none"> □ 地勢に合致し、良好な景観形成、豊かな環境維持に寄与する庁舎…………… (7.立面計画 P11) □ シンプルで維持管理しやすく、LCC低減を実現する庁舎…………… (7.立面計画 P11)
6. 議会機能	<ul style="list-style-type: none"> □ バリアフリーに配慮した、市民が参加しやすい議会機能…………… (5.平面計画 P8)

2. 計画概要

敷地概要

計 画 地	東京都国分寺市泉町2丁目102番9
敷 地 面 積	12,623.72㎡ (登記時地積測量図より)
前 面 道 路	南側:幅員16m 西側:幅員12m
用 途 地 域	第2種住居地域
防 火 指 定	防火地域
高 度 地 区	第2種高度地区
地 区 計 画	国分寺市都市計画 泉町地区地区計画
日 影 規 制	4H/2.5H (GL+4.0m)
指 定 建 蔽 率	60% + 10%(角地緩和)
指 定 容 積 率	200%

計画建築概要

建 築 面 積	4,397.53㎡ (建蔽率 34.84%)
容積対象面積	18,171.62㎡ (容積率 143.95%)
延 床 面 積	21,815.82㎡
階 数	地下1階 地上5階
構 造	鉄骨造・鉄筋コンクリート造 免震構造
基 礎 形 式	直接基礎
建 物 高 さ	24.8m (*)

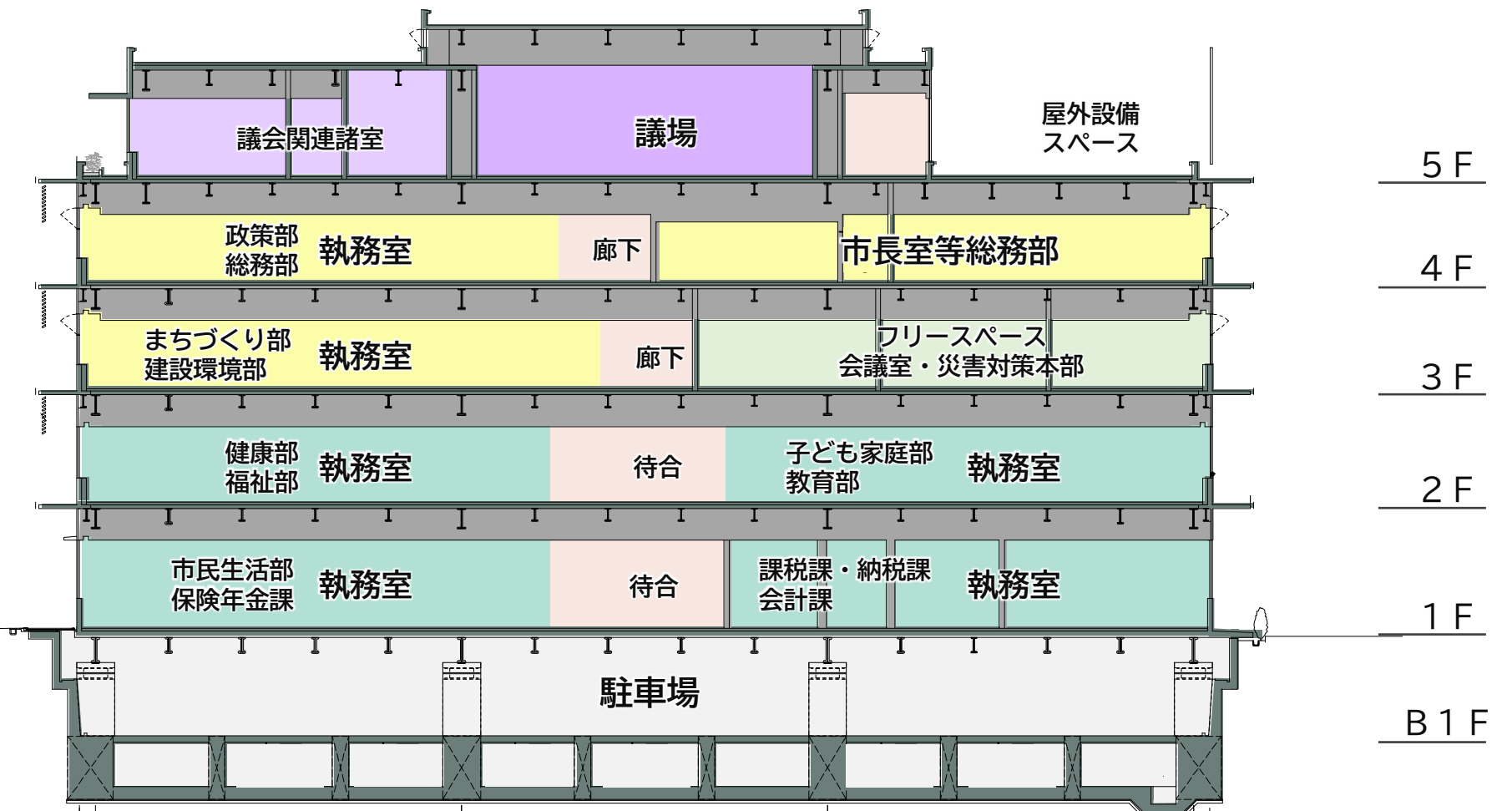
(*)泉町地区地区計画 地区整備計画 建築物等の最高限度に対し、緩和規定を適用予定です。



3. 階層計画

- 市民利用の多い窓口機能は低層階(1, 2階)に配置し, 市民の利便性向上を図ります。
- 地下には来庁者用駐車場を設け, 雨天時も雨に濡れないアクセスを可能とします。
- 災害発生時の対策拠点となる災害対策本部は, 有事の際の迅速な対応のため, 災害対策にあたる部署と連携のとりやすい3階に配置します。
- 最上階には独立性に配慮し, 議会施設を配置します。

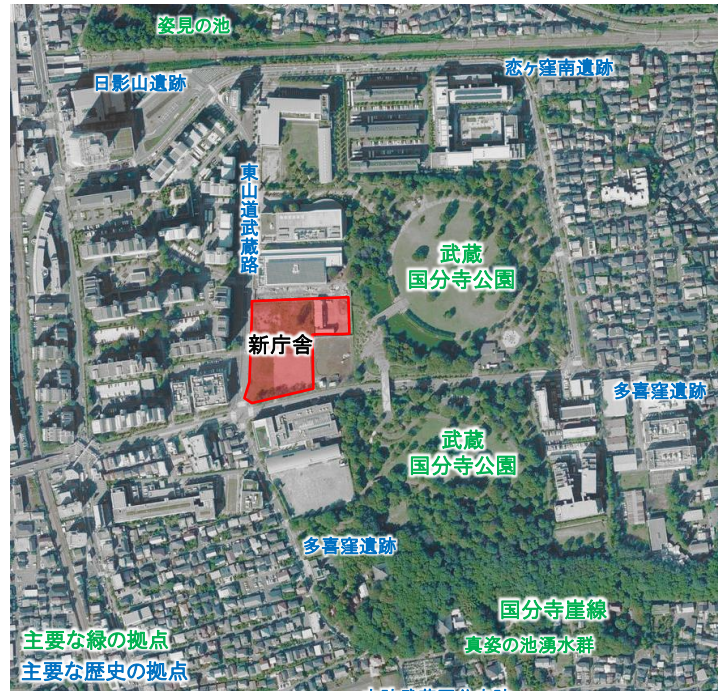
階	配置主要室
5F	議場 委員会室 議員会議室 議会事務局 議員控室 テラス
4F	執務室(総務部・政策部・情報管理課) 市長室・副市長室・庁議室 選挙管理委員会 健康相談室 監査委員事務局
3F	執務室 (まちづくり部・建設環境部・防災安全課) 災害対策本部 会議室 フリースペース 更衣室
2F	執務室 市民窓口 (福祉部・教育部・子ども家庭部・健康部) 授乳室
1F	執務室 市民窓口 (市民生活部・保険年金課・納税課・課税課 ・会計課)エントランスロビー 多目的スペース 協働スペース 情報公開コーナー 売店
B1F	来庁者用駐車場 倉庫 防災倉庫 設備機械室



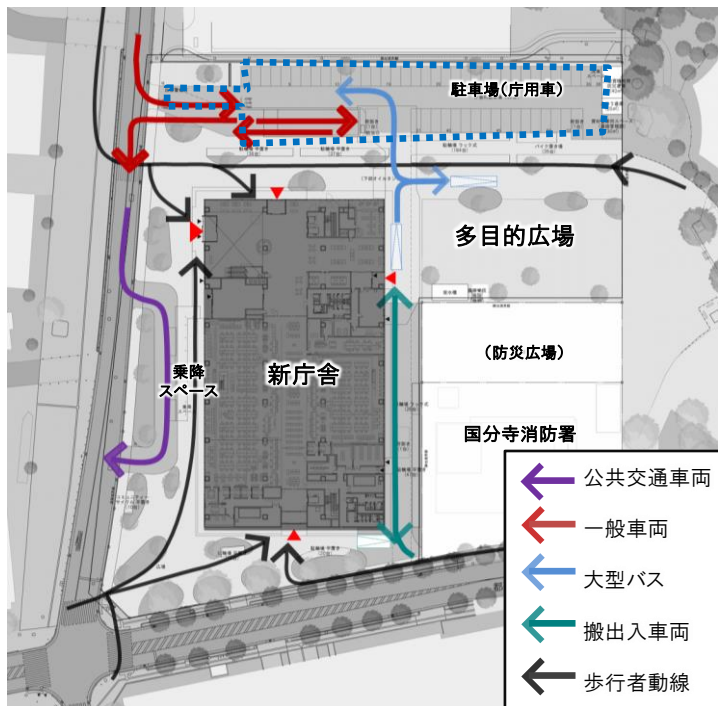
階層構成のイメージ

4. 配置計画

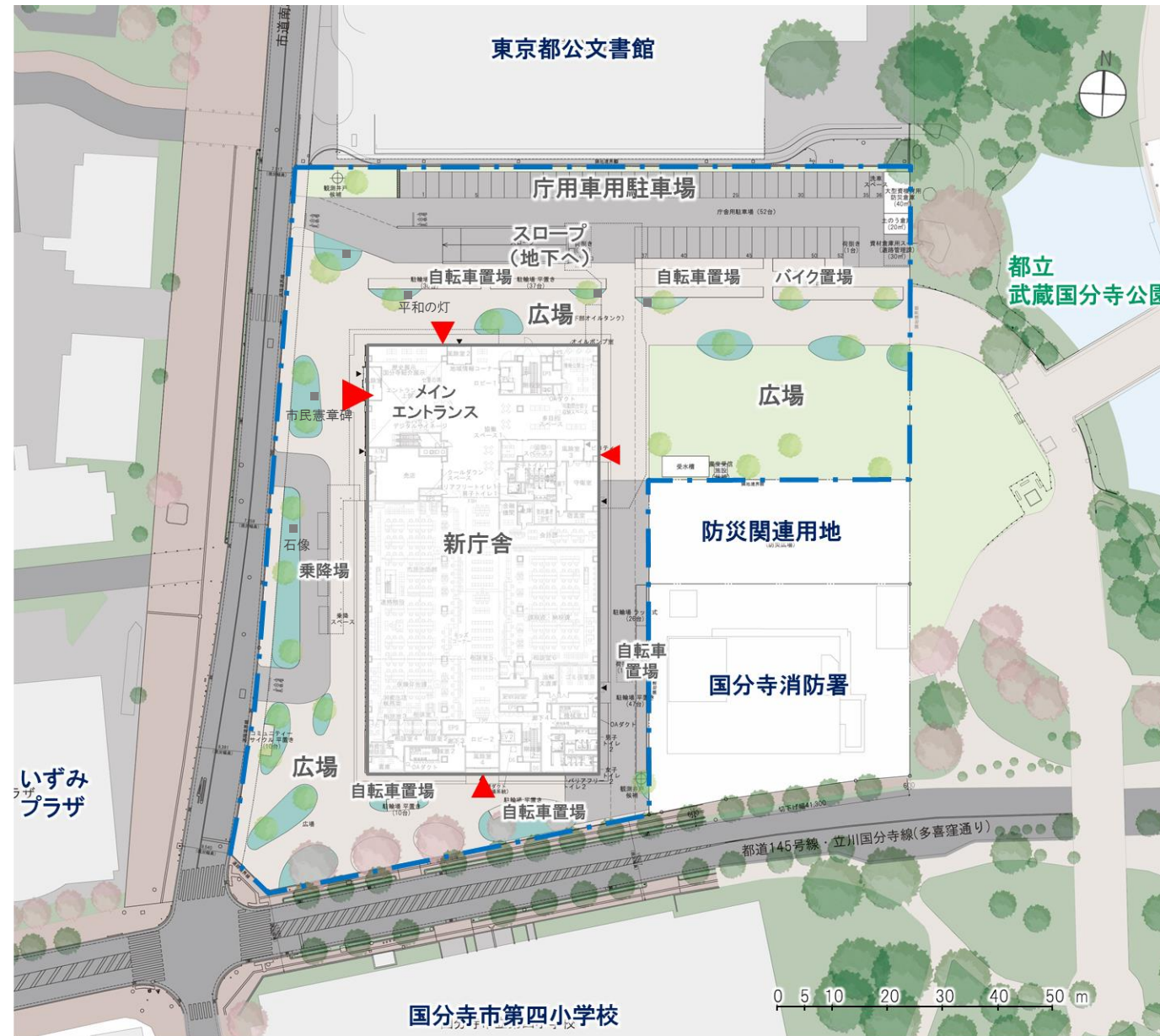
- ・ 庁舎建物は敷地のほぼ中央に配置し、敷地周辺環境から十分な引きをとり、ゆとりをもたせた配置とします。
- ・ 車両の出入口は比較的交通量の少ない西側道路のみとし、一般車両(来庁者、庁用車両)出入口を北西の1か所に集約することで、歩行者の通行上注意が必要な箇所を最小限にできるとともに公共交通車両動線との交錯をなくし、敷地内外の安全性を向上させます。
- ・ 敷地内の広場は、平常時は市民の憩いの場、市民活動の拠点、また有事の際は災害対策活動の拠点として、多目的に機能します。



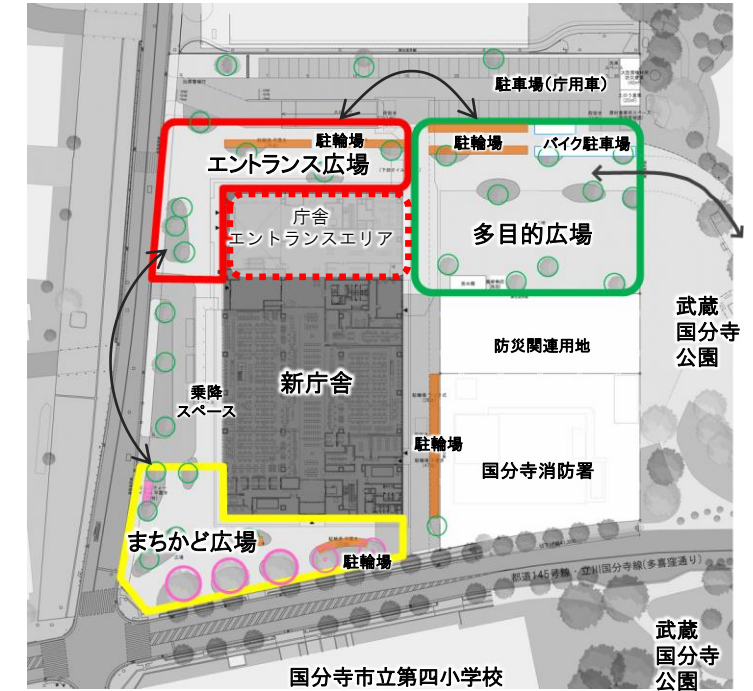
新庁舎の敷地は、豊かな自然と史跡に囲まれております。庁舎は周辺環境のみどりをつなぐ拠点、歴史を次世代へつなぐ拠点、市民の皆様の活動の拠点となります。



歩行者の通行上注意が必要な箇所を最小限にし、敷地内外の安全性を向上させます。庁舎入口は各方面に配置し、来庁者の利便性に配慮します。



配置図



敷地内の3つの広場(エントランス広場・多目的広場・まちかど広場)は、市民に開放される憩いの場となります。各広場が自然につながる設えとし、一体的な景観をつくります。

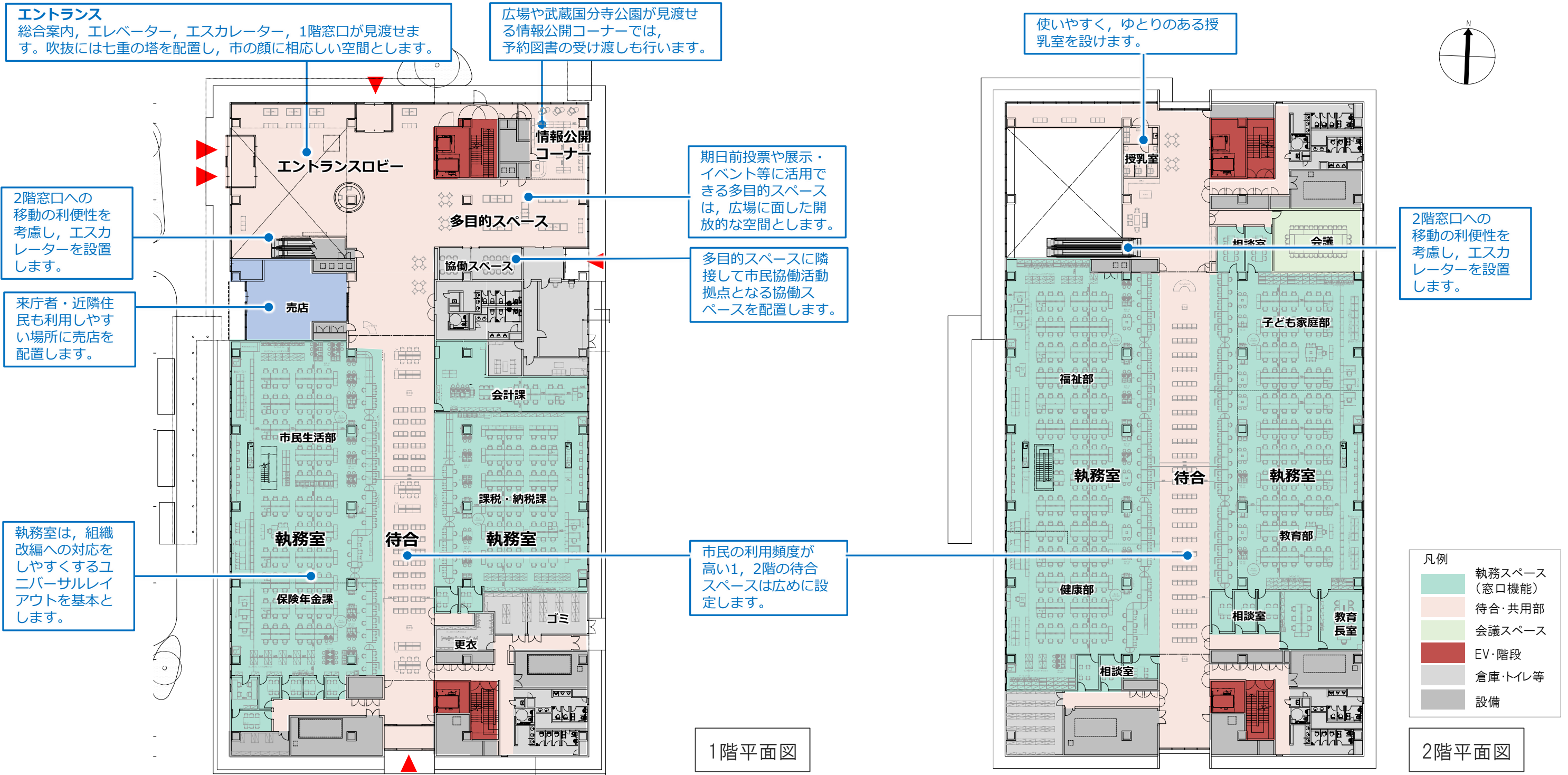


1階平面図

メインのアクセスをJR西国分寺駅方面とし、視認性の高い位置に庁舎メインエントランスを配置します。総合案内・市民窓口がわかりやすくスムーズなご案内ができる空間とします。

5. 平面計画

- ・ 庁舎建物は機能的かつ合理的な長方形の平面形状とします。
- ・ 柱・梁は長大スパンを実現し、執務空間、待合スペースに柱の少ない、使い勝手のよい空間とします。
- ・ 各フロア南北対称な位置にエレベーター(EV)・階段・トイレを配置し、動線がわかりやすく明快な配置とします。また、EVホール・トイレは自然光が入る明るい空間とします。



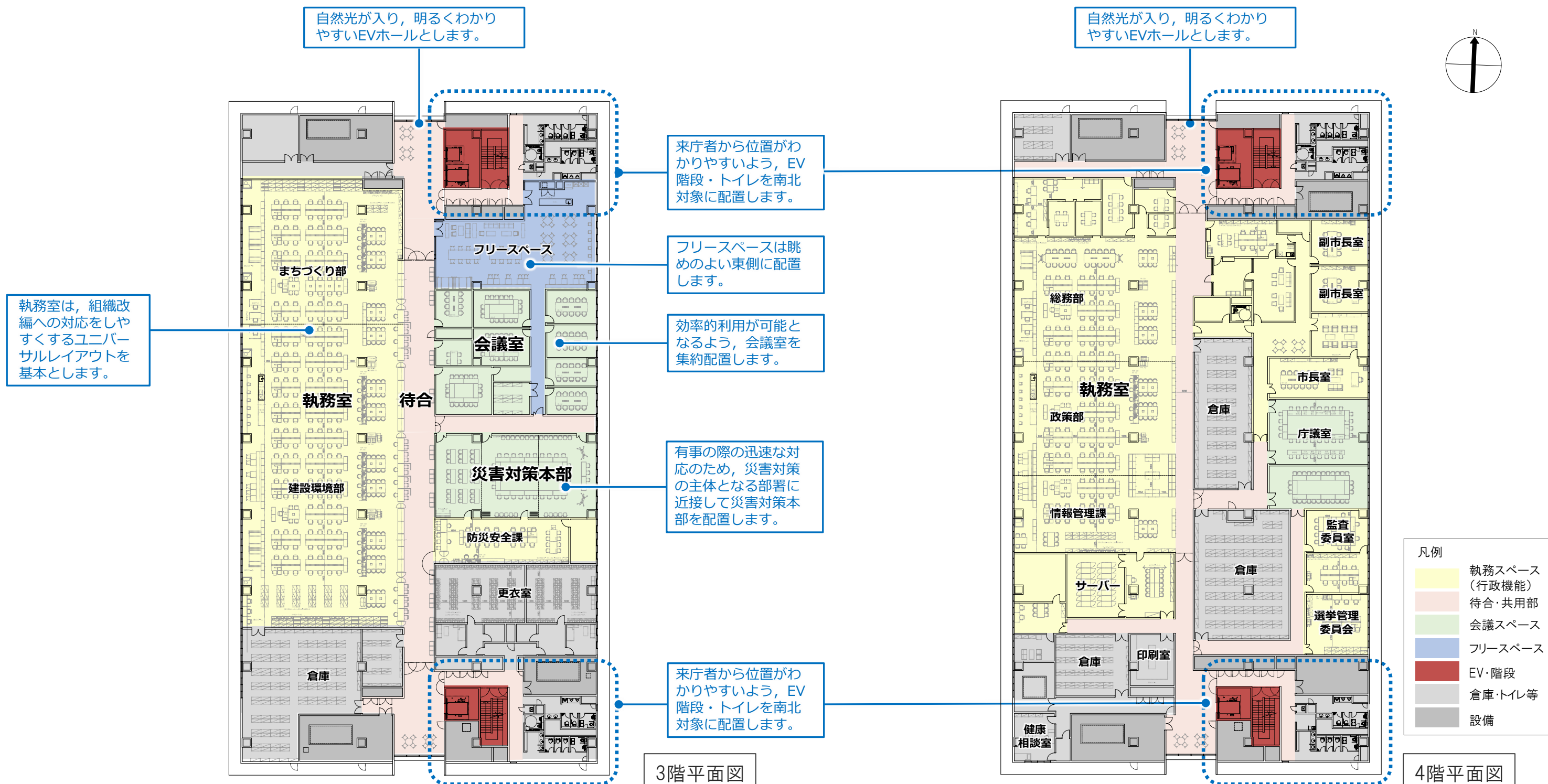
〈1階平面計画〉

- ・ 総合案内・エレベーター、エスカレーターはメインエントランスから視認性の高い位置に配置します。
- ・ エントランスポビーに隣接して期日前投票やイベント開催が可能な多目的スペースを配置します。
- ・ 来庁者・近隣住民も利用しやすい位置に売店を配置します。

〈2階平面計画〉

- ・ 市民の利用頻度が高い2階窓口エリアへのアクセスを容易にするためエスカレーターを設置します。

5. 平面計画



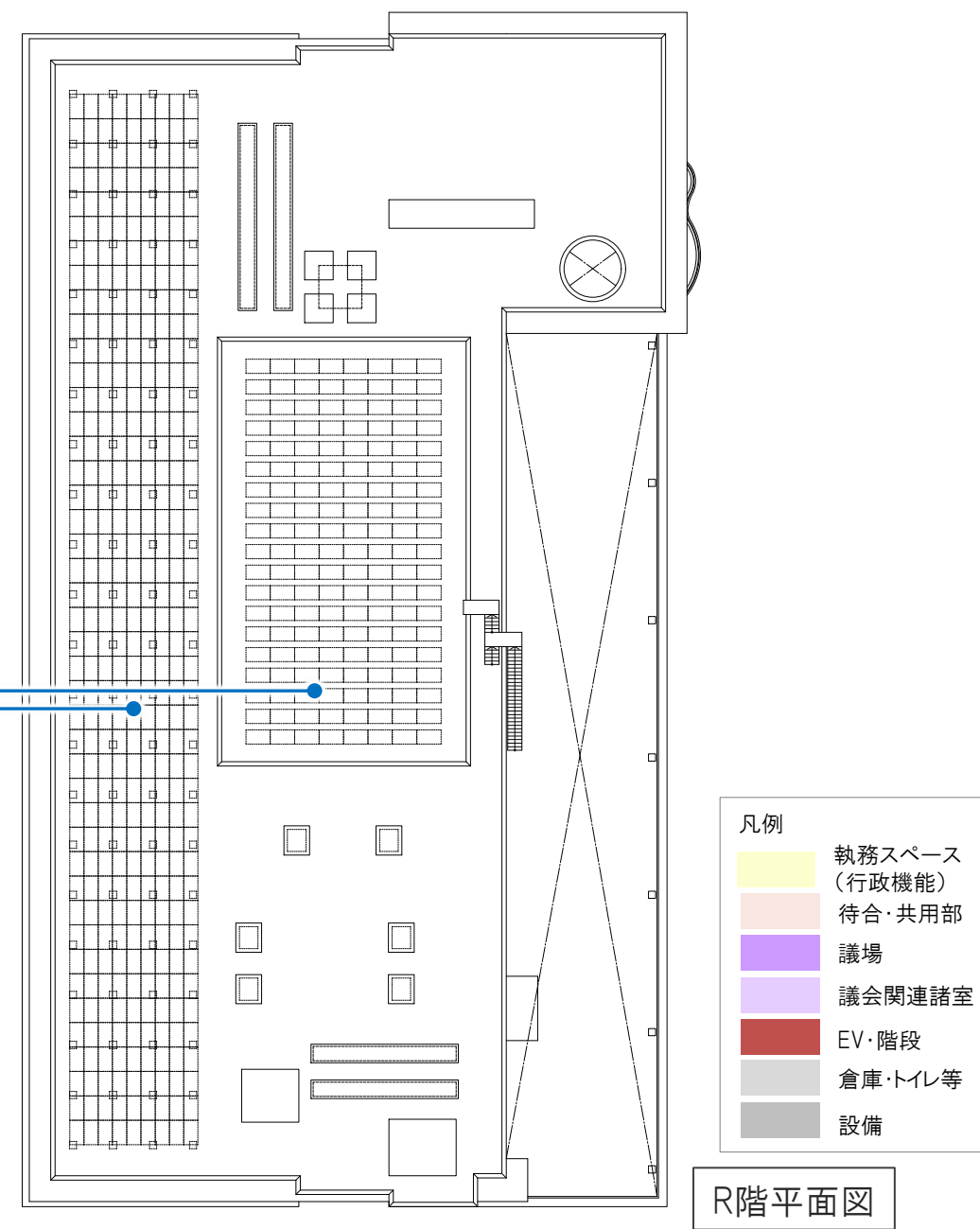
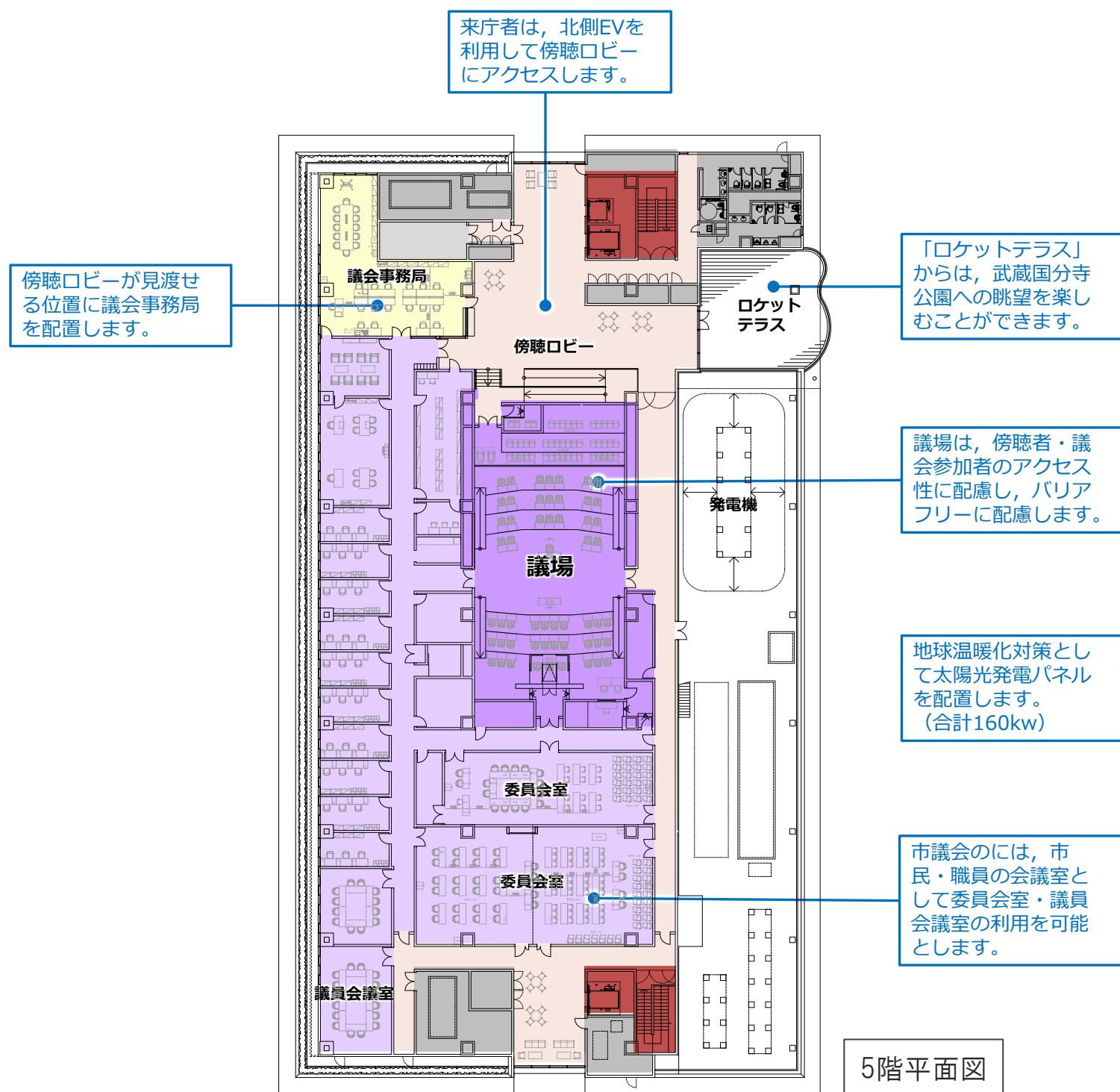
〈3階平面計画〉

- ・主に職員の休憩のために利用する市民開放スペースとして，フリースペースを配置します。
- ・有事の際の災害対策拠点となる災害対策本部を災害対応にあたる部署と連携しやすくアクセスしやすい3階に配置します。
- ・会議室は効率的な利用が可能な集約配置とします。
- ・閉庁時の市民利用が可能な会議室を計画しております。

〈4階平面計画〉

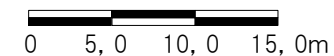
- ・行政運営を行う部署の執務室や倉庫を配置します。
- ・市長室等総務部は，5階議会エリア・3階災害対策室との連携がとりやすい4階に配置します。

5. 平面計画



凡例

黄色	執務スペース (行政機能)
オレンジ	待合・共用部
紫	議場
淡紫	議会関連諸室
赤	EV・階段
グレー	倉庫・トイレ等
黒	設備



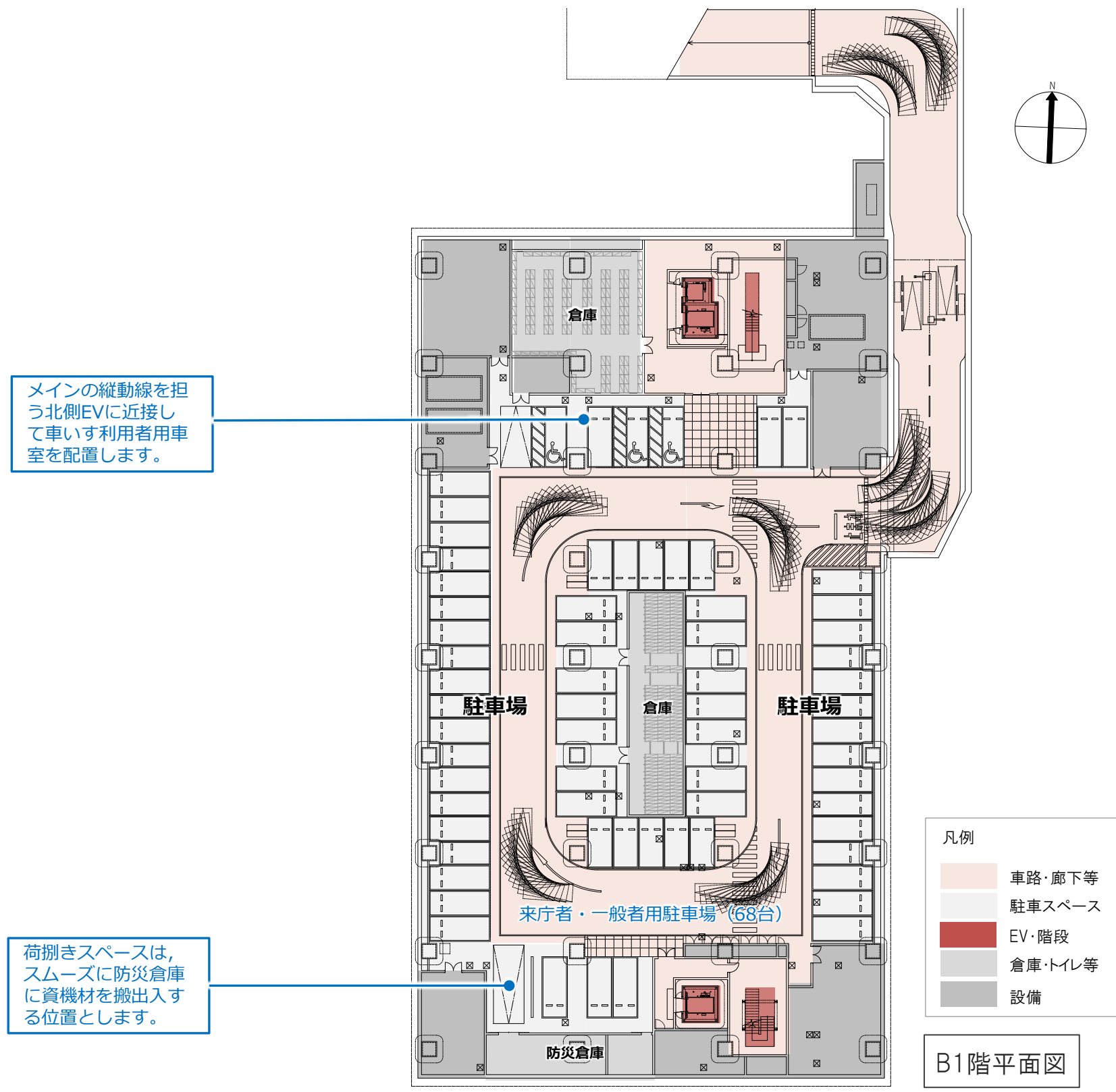
〈5階平面計画〉

- ・議場をフロア中央に配置し、利用者のアクセス性を高めた計画とします。
- ・傍聴者がアクセスしやすい北側EVホール前に傍聴ロビーを計画し、隣接して武蔵国分寺公園の緑を眺めることの出来る屋外テラスを計画します。
- ・議場・委員会室・傍聴ロビーを目視確認でき、ご案内しやすい位置に議会事務局を配置します。

〈R階平面計画〉

- ・地球温暖化対策の取組みとして、屋上に太陽光発電パネルを最大限配置し、庁舎機能のための消費電力に活用します。

5. 平面計画

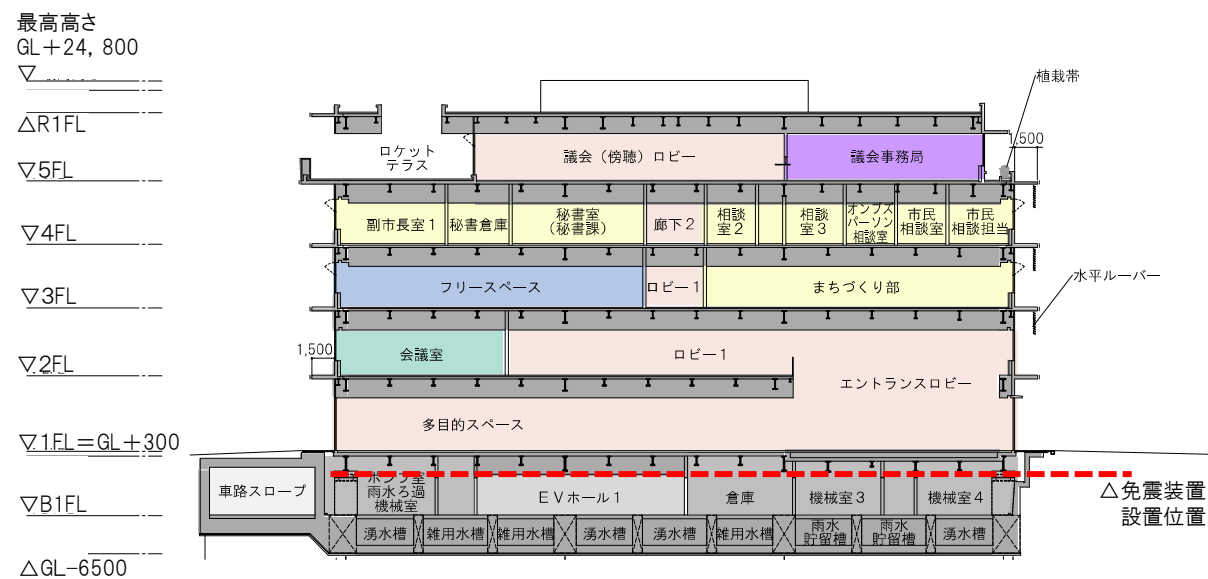


〈B1階平面計画〉

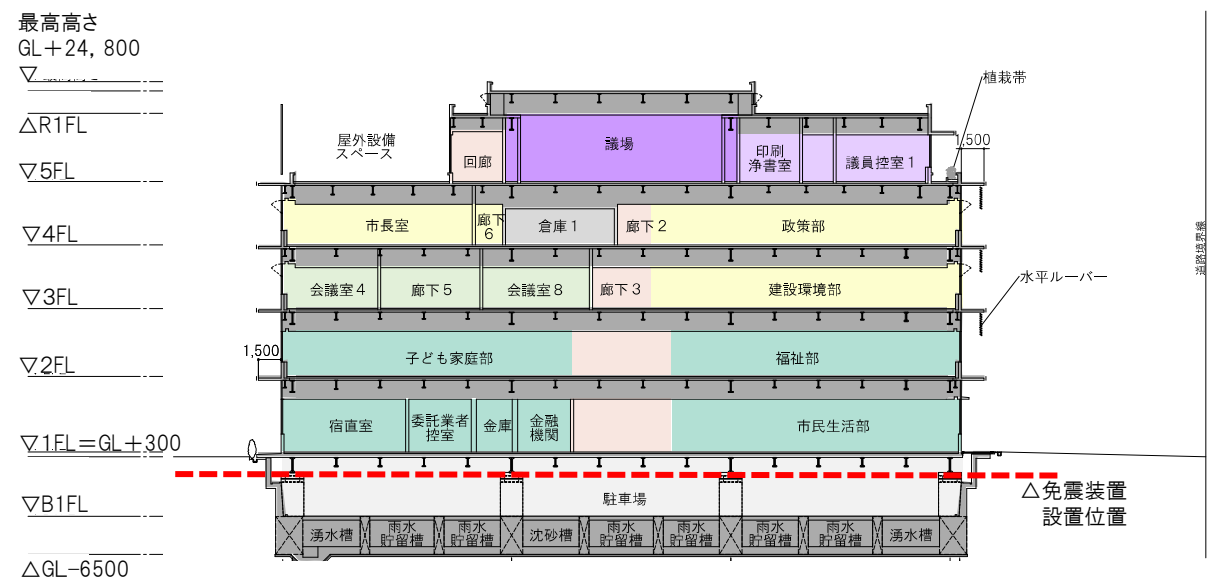
- ・ 来庁者用の駐車場を68台分配置します。
- ・ 閉庁時も利用できるように検討しています。
- ・ 駐車場内はシンプルな一方通行の周回車路とすることで、安全性に配慮し、駐車をしやすい計画とします。

6. 断面計画

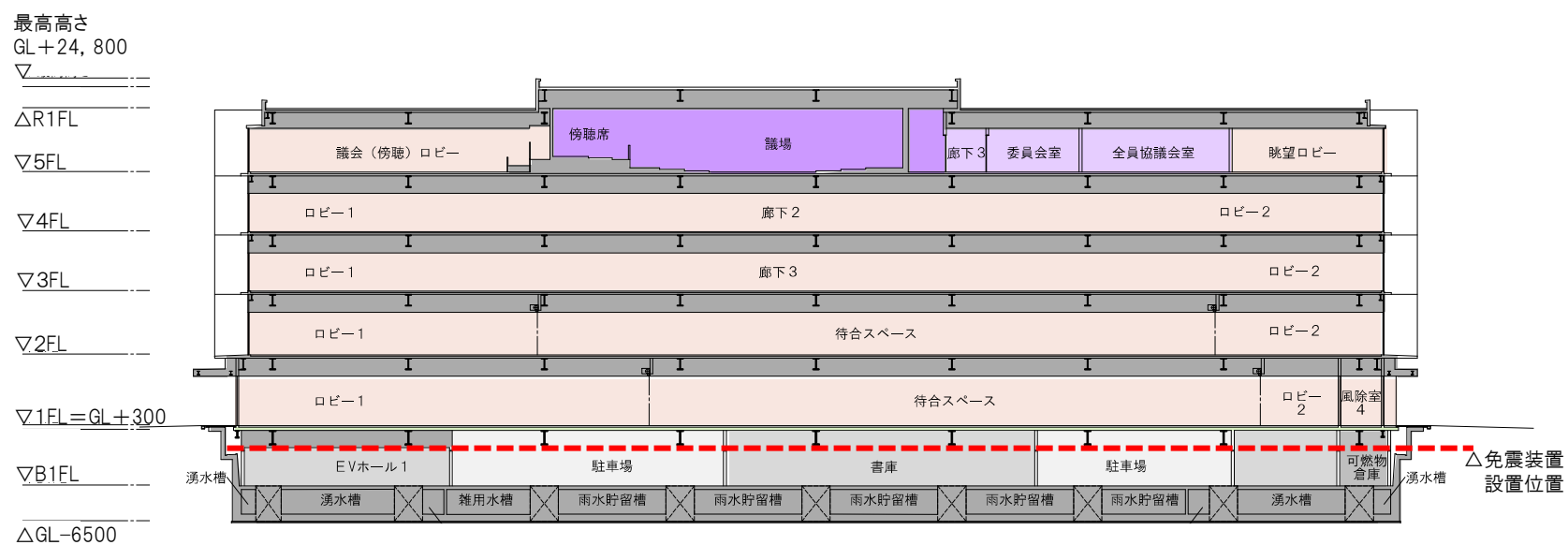
- 地下駐車場柱上部に免震装置を配置し、大規模地震の際にも庁舎機能を維持できる計画とします。
- 1階エントランスロビーを吹抜けとすることで、市民利用が多い2階窓口ゾーンへの視認性を高めた計画とします。
- 免震構造の地上階に重要設備機器を配置し、有事の際の庁舎機能の安全性・持続性を高めます。



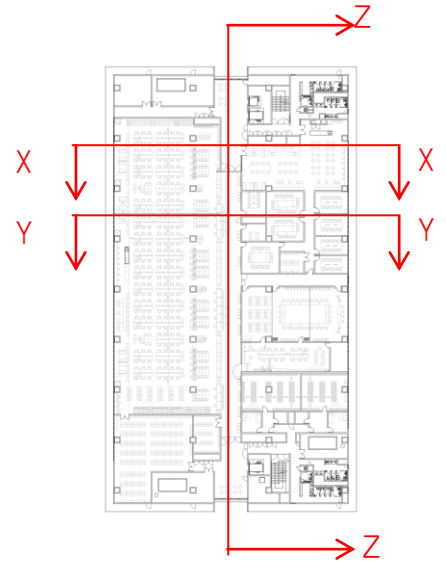
X-X断面図



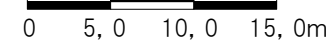
Y-Y断面図



Z-Z断面図



断面切断位置
キープラン



7. 立面計画

緑豊かで閑静な周辺環境に調和する、親しみやすい景観とします。

デザインコンセプト
KOKUBUNJI DNA

【デザインコンセプト】

- 1)歴史と今と未来をつなぐ 歴史を尊重しながら次世代へつなぐ 永く市民に愛される国分寺らしいデザイン
- 2)地域に調和する庁舎 周辺環境に配慮し街並みに調和する外観
- 3)地域資源の活用 地域産木材・現地の木・土を用いた建材の活用



北西側パース



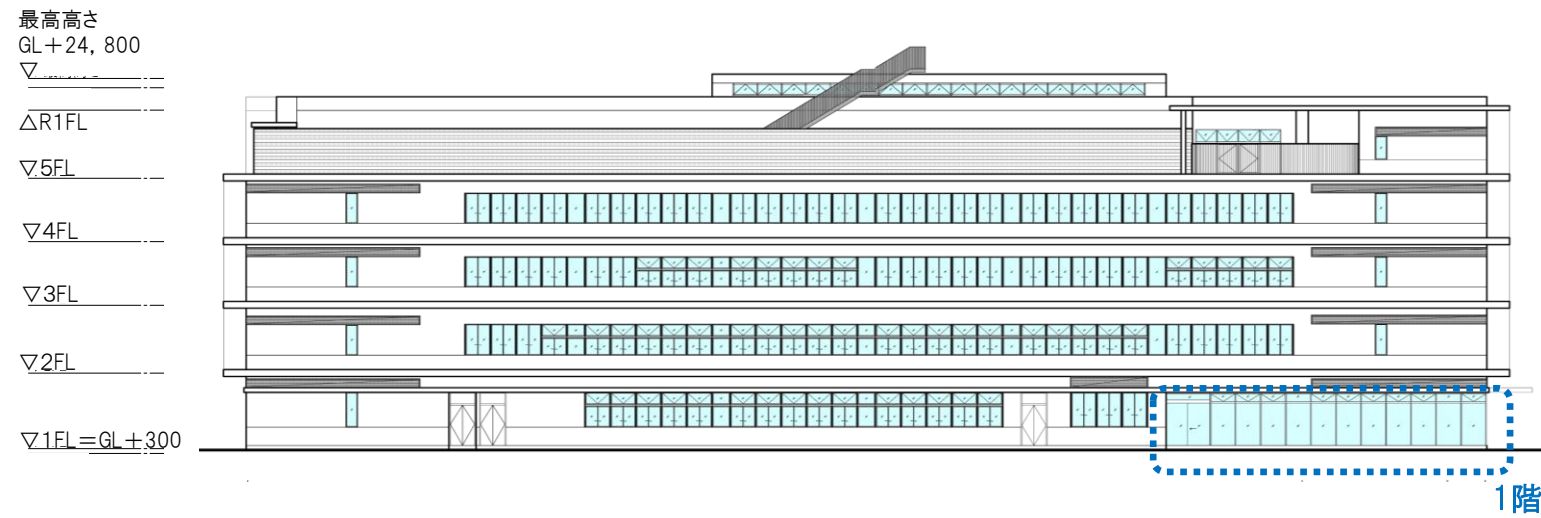
エントランス前の大庇の柱をなくし、視認性・歩行性とも向上させます。



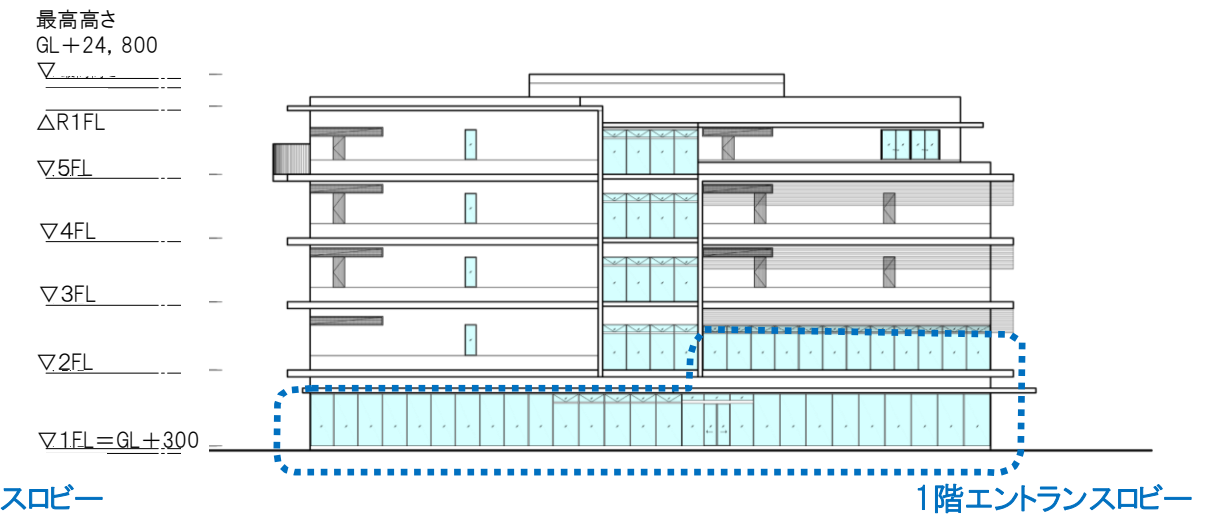
南西側パース

7. 立面計画

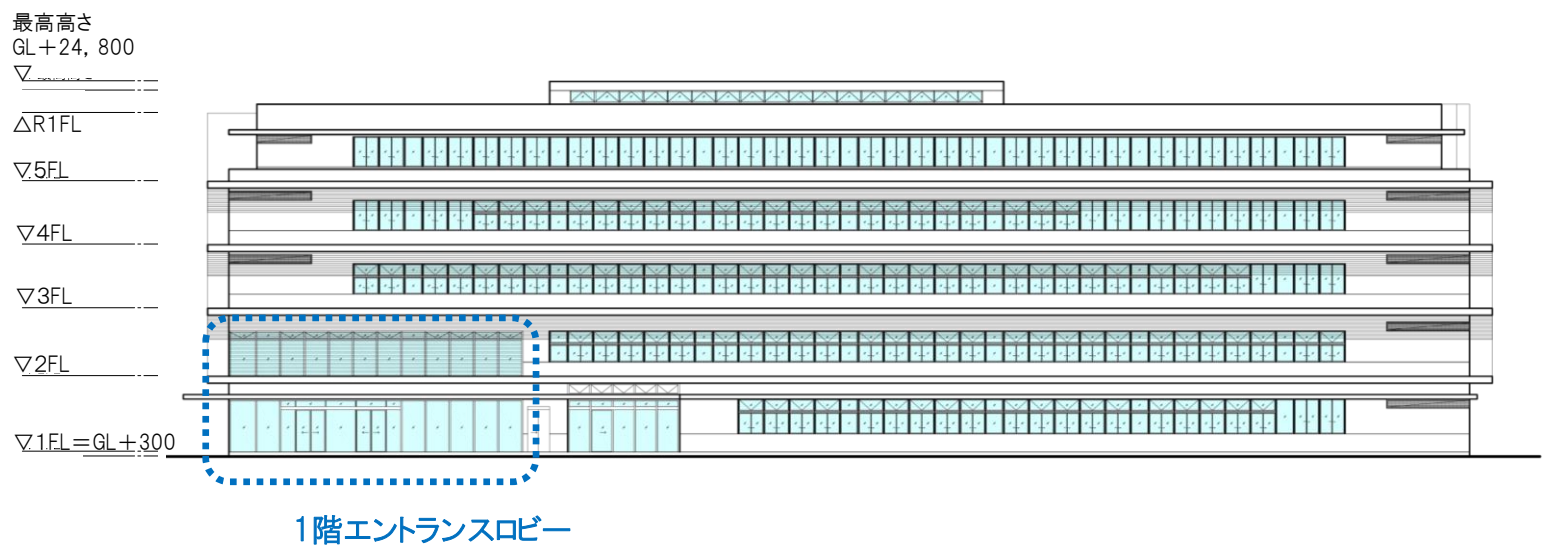
- 各階に外壁保護のための庇を配置します。また、西面には直達日射を低減するルーバーを設置し、空調負荷の低減に配慮した計画とします。
- 執務スペースの開口は引き違い窓とし、自然換気・通風しやすい開口形状とします。自然通風を可能とすることで、空調負荷を低減し省エネルギーに寄与します。
- 1階エントランスロビーに面した窓は床から天井までの高さとするこで、開放的な空間とするとともに、来庁者の視認性を高めた計画とします。



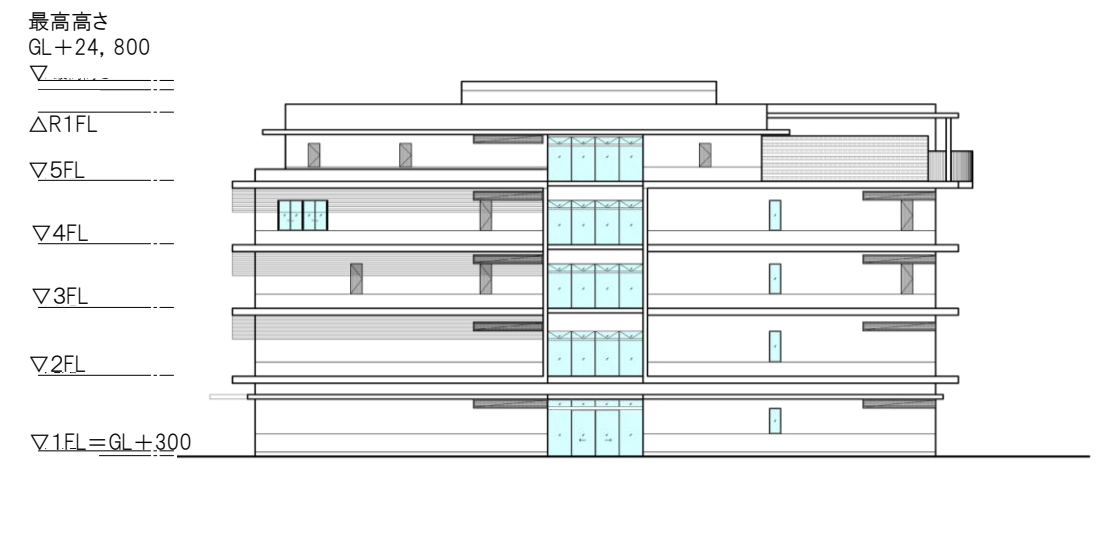
東立面図



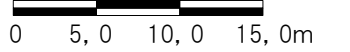
北立面図



西立面図



南立面図

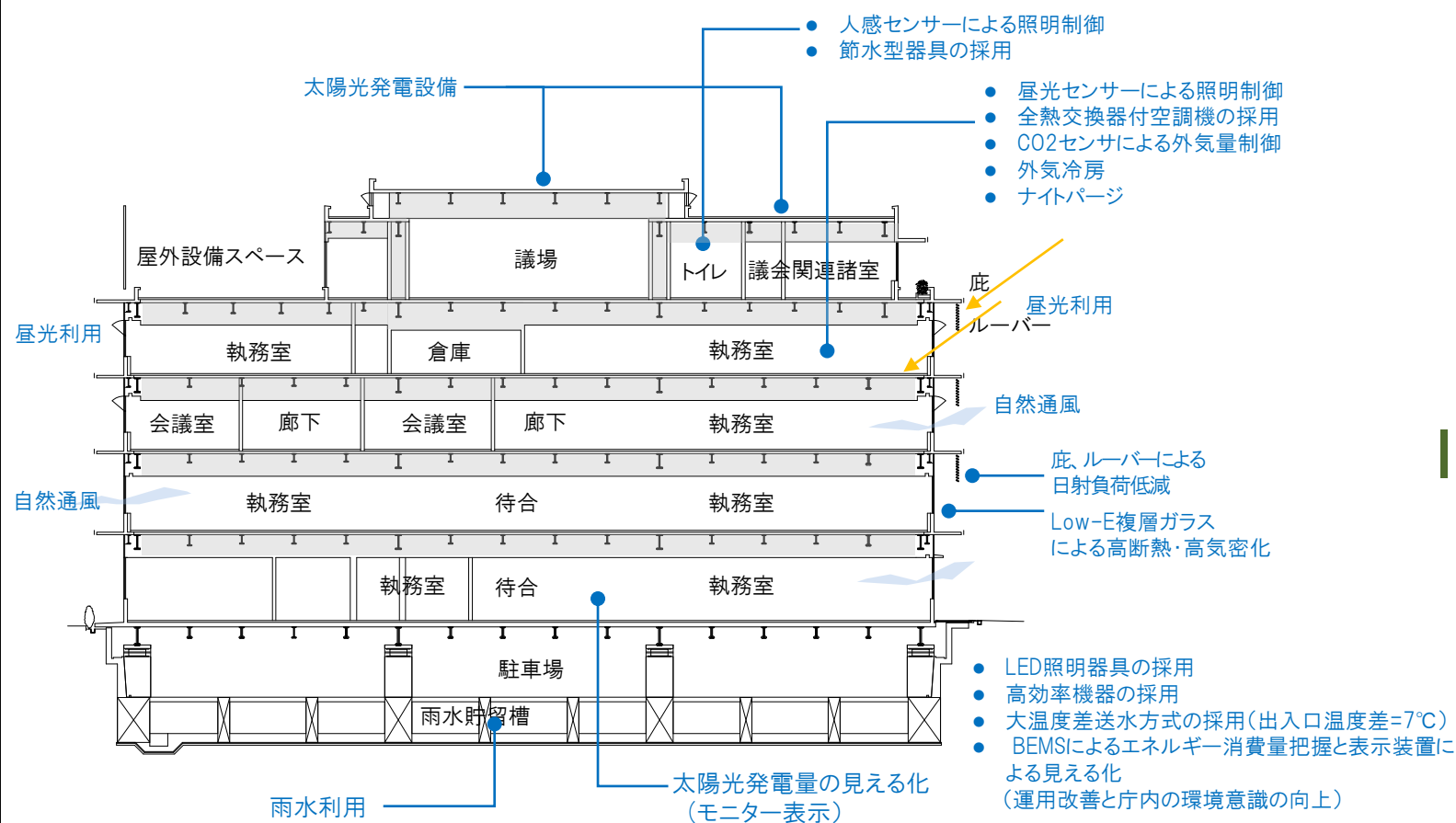


8. 環境計画

- 自然エネルギーを積極的に活用し、環境負荷を抑える計画とします。
- 高効率機器と省エネルギー制御の組み合わせにより、設備機器のエネルギーを抑える計画とします。
- CASBEE-NC Sランク・ZEB Ready認証を取得します

環境配慮計画の考え方

- 最大限可能な太陽光発電設備を屋上に設置し、太陽エネルギーを活用します。
- 外装の日射遮蔽ルーバー、自然換気により省エネルギー化に努め、エネルギー消費量や太陽光発電量のデジタルサイネージによる見える化を行い、市民や職員の方が環境配慮を身近に感じることができる計画とします。



環境配慮項目模式図

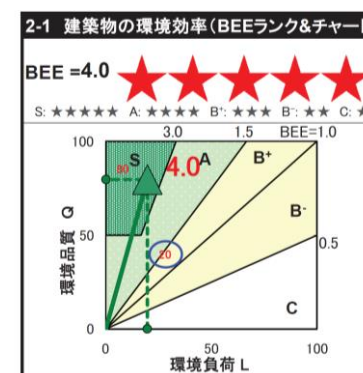
CASBEE-S ランクの認証取得

- CASBEE-NC(新築) Sランク, CASBEE-WO Sランクに到達する計画としています。

・「CASBEE」(建築環境総合性能評価システム)は、建築物の環境性能で評価し格付けする手法です。省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステムです。

・CASBEE-NC(新築) は戸建て住宅を除くすべての用途に適用できます。

・CASBEE-WO(ウェルネスオフィス)は、建物利用者の健康性、快適性の維持・増進を支援する建物の仕様、性能、取組みを評価するツールです。建物内で執務するワーカーの健康性、快適性に直接的に影響を与える要素だけでなく、知的生産性の向上に資する要因や、安全・安心に関する性能についても評価します。



基本設計時 CASBEE-NC(新築)評価



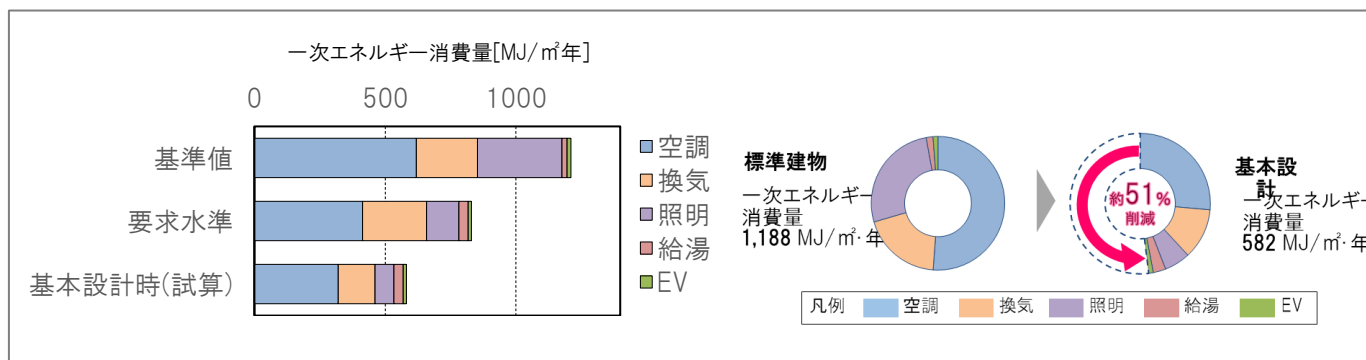
基本設計時 CASBEE-WO評価

ZEB Readyの認証取得

- 一次エネルギー消費量を基準値より51%削減し、ZEB Ready 認証を取得します。

・ZEBとはNet Zero Energy Buildingの略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のことです。

・ZEB Readyとは、再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物のことです。認証は省エネルギー性能表示(BELS等)の評価となります。



基本設計時 ZEB Ready 到達確認

9. 防災計画(災害対策)

- ・ 庁舎建物としての安全性・耐震性を確保する免震構造を採用します。
- ・ 国分寺市の災害対策拠点として、有事の際の庁舎機能維持に十分な配慮を行います。
- ・ 電気・通信は2系統、ガスは中圧ガスを引き込み、供給の信頼性を高めます。また、主要室・主要設備機器は地上配置とし、浸水リスクに備えます。

地震対策

より高い免震性能を発揮するシステムを採用し庁舎の機能維持を計ります

- 免震構造を採用し構造体の耐震安全性をⅠ類とします。
- 設備機器及び配管についても耐震安全性を確保し、地震災害時にも機能を維持します。

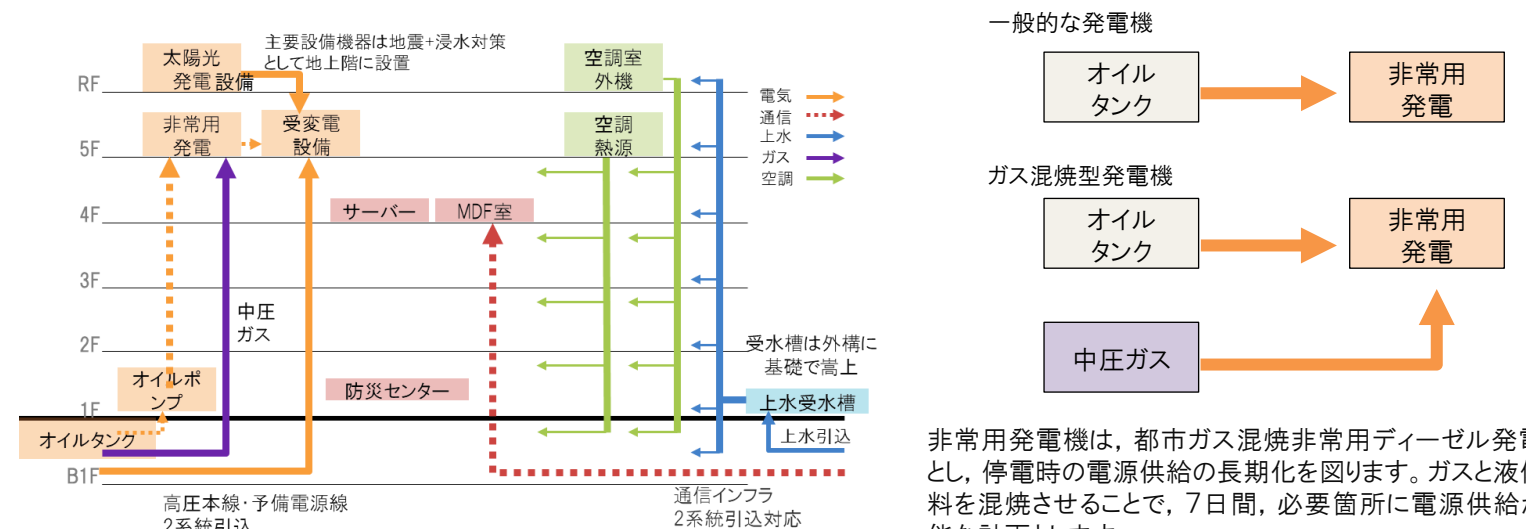
耐震安全性の分類		耐震安全性の目標
Ⅰ類		大地震動後、構造体の補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
Ⅱ類		大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく、建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られている。
Ⅲ類		大地震動により構造体の部分的な損傷は生ずるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られている。
建築非構造部材	A類	大地震動後、災害応急対策活動等を円滑に行ううえ、又は危険物の管理のうえで支障となる建築非構造部材の損傷、移動等が発生しないことを目標とし、人命の安全確保に加えて十分な機能確保が図られるものとする。
	B類	大地震動により建築非構造部材の損傷、移動等が発生する場合でも、人命の安全確保と二次災害の防止が図られていることを目標とする。
建築設備	甲類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られているとともに、大きな補修をすることなく、必要な設備機能を相当期間継続できることを目標とする。
	乙類	大地震動後の人命の安全確保及び二次災害の防止が図られていることを目標とする。

出典：官庁施設の総合耐震・対津波計画基準

災害時のBCP対応方針

国分寺市の災害対策活動の司令塔として業務継続機能に配慮した計画とします。

- 電力通信インフラが、万が一途絶した場合でもバックアップ対策を取り、7日間業務を継続できる計画とします。
- 電力の多重化を図るため、高圧2回線受電方式とします。
- ガスの引込は、災害時にも遮断しにくい中圧ガスを採用します。中圧ガスはガス混焼型の非常用発電機に供給し、燃料と混焼して電源供給の長時間化(168時間以上)を図ります。
- 太陽光発電設備により災害時のエネルギーバックアップの強化を図ります。



災害対策を考慮した主要機器配置の考え方

混焼型発電機概念図

浸水対策

主要室および主要設備機器を地上配置とします。

- 新庁舎計画地はハザードマップ上、浸水の心配のない地域です。
- 万が一の浸水リスクに備え、主要室および主要設備機器を1階より上層の階及び外構に配置し、安全性を高めます。
- 地下駐車場に流入する雨水については、十分な機能をもった排水設備を準備し、浸水リスクに備えます。



災害時(停電時)電源供給エリア想定図(照明・コンセント) (保安電源供給エリア (照明:100%、コンセント:30~100%を想定) (照明:30~50%、コンセント:30%を想定))

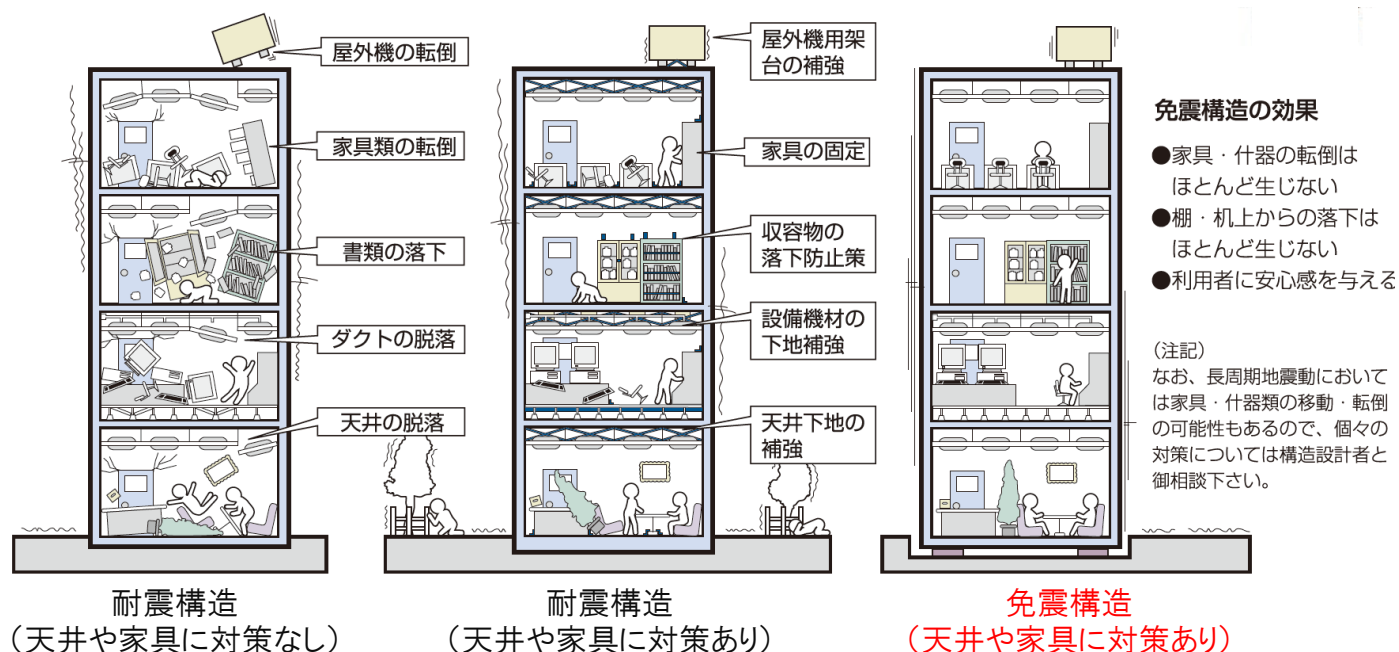
今後、「国分寺市震災時における事業継続計画」との整合を図り、エリア及び供給容量について、検討を行います。

10. 構造計画

- ・ 庁舎建築としての安全性・耐震性を確保する免震構造を採用します。
- ・ 地上階の柱・梁は長大スパンを実現する鉄骨造とし、執務空間、待合スペースに柱の少ない、使い勝手のよい空間とします。
- ・ 国分寺市の名水保全に配慮した基礎構造計画とします。

耐震設計概要

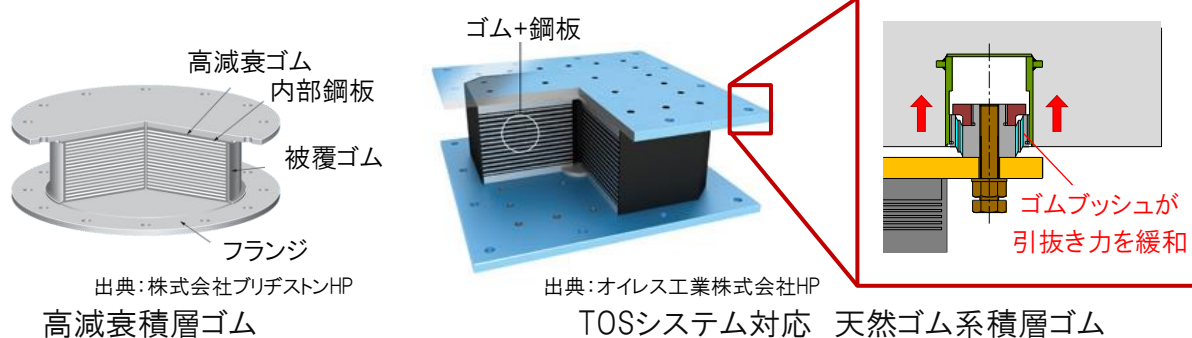
- 耐震安全性の分類は「官庁施設の総合耐震・対津波計画規準」と「建築構造設計基準及び参考資料」に基づく耐震安全性Ⅰ類相当とする。大地震後に構造体の補修をすることなく建築物を使用可能で、人命の安全確保に加えて十分な機能を確保するため免震構造を採用します。



出典：社団法人 日本建築構造技術者協会HP

- 免震装置は主に「アイソレーター*1」と「ダンパー*2」の機能を併せ持つ高減衰積層ゴムを配置する計画とします。また建物4隅には天然ゴム系積層ゴムを配置し、その上側取付け部分にゴムブッシュを内蔵させるTOSシステムを採用します。これにより想定を超える地震時の免震装置に作用する引抜き力を緩和し高い構造安全性を確保します。

*1: 建物の荷重を支えながら地盤から建物を水平方向に絶縁させる装置
 *2: 地震による建物の変形を抑制する装置



出典：株式会社ブリヂストンHP

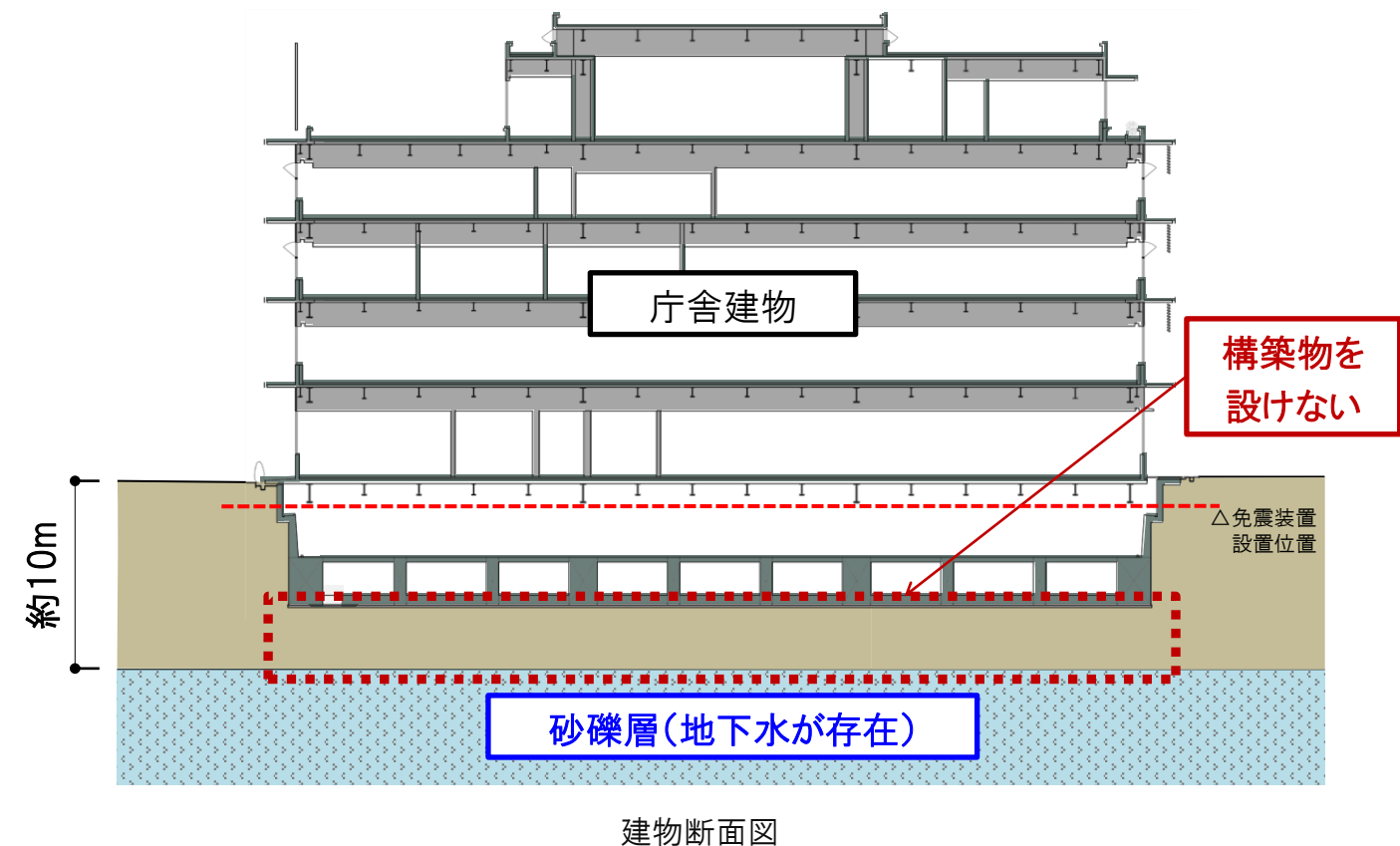
出典：オйлレス工業株式会社HP

架構計画概要

- 地上階の構造種別は建物重量の軽量化、長大スパン化が可能な鉄骨造(一部CFT造)とします。
- 地上階の架構形式は鉛直ブレースや耐力壁のない純ラーメン構造とし、執務空間や市民スペースの可変性に配慮します。
- 地下階の構造種別は鉄筋コンクリート造とします。B1階柱頭を免震層とする中間階免震とし、基礎免震の場合よりも掘削土量を削減し搬出土を最小限にします。

基礎構造計画概要

- 建物の地中最下部・基礎構造は建物を安全に支持する性能確保に加えて国分寺名水保全に配慮します。そのため地下水が存在する地表から約10m以深の土層・砂礫層にコンクリートや地盤改良等、水質に影響を及ぼす可能性がある構築物を設けない計画としました。



建物断面図

11. ユニバーサルデザイン計画

- だれもが利用しやすく安心して快適な庁舎とするため、ユニバーサルデザインに配慮した整備をします。

主な配慮項目

関係法令(高齢者・障害者などの移動等の円滑化の促進に関する法律、東京都高齢者・障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例および東京都福祉のまちづくり条例、官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準)に適合させることを前提として、主に以下の項目に配慮した計画とし、だれもが利用しやすい環境整備をおこないます。

(1) 外部動線のユニバーサルデザイン計画

- 敷地西側歩道状空地から庁舎建物入口までの主要動線上は可能な限り**段差のないアプローチ**とします。また西側新設横断歩道から風除室までの主要動線にそって、**誘導ブロック**を敷設します。
- 敷地内通路は**滑りにくく歩きやすい舗装材**を選定します。
- 多様な来庁者を想定し、休憩できる木影・ベンチ等を配置します。

(2) 車椅子利用者へのユニバーサルデザイン計画

(来庁者配慮)

- 地下1階駐車場に車いす利用者用駐車場(3台)をエレベーター近くに配置し、雨に濡れないアプローチを可能とします。
- すべての階へ車いす利用者がアプローチできるよう、南北EVは車いす対応とし、各車いす利用者の利用ゾーンまでの移動空間は**円滑にアプローチできる幅員・転回スペースを確保**、滑りにくい床仕上げ材とし、**段差を設けません**。
- サイン、カウンター、押しボタン、設備機器類の配置高さは車いす利用者の視認性、**利用しやすい高さに配慮**します。
- 1-5階すべてのトイレに車いす対応トイレを準備します。
- 議場傍聴席へのアプローチには転回しやすい寸法を確保したスロープを配置します。
- 市民利用エリアに設置する扉は**可能な限り引戸**とします。
- バリアフリートイレ内、介助者配慮のため目隠しカーテンを設置します。

(職員配慮)

- ワークスペース内は車いす利用者の円滑な移動に配慮した通路寸法を確保します。
- 議場・会議室とも、**各席まで車いすアプローチが可能なスロープ**、**通路幅を確保**します。
- 議長席へのアプローチは**フロアリフター設置可能な対応**をしておきます。

(3) 聴覚障害者へのユニバーサルデザイン計画

- 外部の歩行者と車両の交差部には、出庫表示灯(バトランプ)を設置します。
- 緊急事態の情報を光によって提供できる設備(フラッシュライト)を必要箇所に設置します。
- 議場には、難聴対応スピーカー(磁気ループ)を配置します。
- 議会システムモニターに手話通訳およびテロップ表示を検討します。
- 筆談用コミュニケーションボードを準備します。

(4) 視覚障害者へのユニバーサルデザイン計画

- 敷地西側歩道状空地から主要出入り口まで**誘導ブロック**を敷設します。
- 主要出入り口から総合案内までのルート、階段最下段最上段に**点字紙**を設置します。
- EV、トイレ、階段手摺、総合案内サイン、各案内サインには**点字サイン**を併記します。
- 総合案内サイン、EV、避難誘導灯には**蝕知地図・音声ガイド**を設置します。
- 議場傍聴席には音声ガイドを検討します。
- 弱視、色覚障害者配慮として、**照度確保**、**読みやすい書体**、**明度差を大きくしたサイン**とします。
- 各所**警報装置は音による情報伝達**を併設します。
- 盲導犬に配慮した対応をします。

(5) 高齢者へのユニバーサルデザイン計画

- 各階段、トイレ内の必要箇所に**手すり**を設け、円滑な移動が可能な対応とします。
- 見やすいサイズや色遣いに配慮したサイン計画をおこないます。
- 総合案内→発券機→記載台→各窓口への**誘導のわかりやすさ**に配慮します。
- トイレブース内、洗面化粧台前、カウンターに**杖かけフック**、**荷物置場**を配置します。
- 風除室付近に貸し出し用車いす置場を確保します。
- 記載台カウンターの一部にルーペ、老眼鏡置場を準備します。

(6) 乳幼児・子ども連れ利用者へのユニバーサルデザイン計画

- 外部自転車置場に**子連れサイクルポート**(3人乗り自転車置場)を確保します。
- 男女トイレ、バリアフリートイレにおむつ替えシート、ベビーチェアを配置します。
- 明るく快適な**授乳室**、休憩コーナーを準備します。
- 乳幼児連れ利用者が多いエリアに**キッズコーナー**を配置します。
- 乳幼児連れ利用者が多い窓口カウンター脇に**ベビーカー置場**を配置します。
- 各所落下防止手摺は、幼児の**落下防止**のため、足がかりから1200mm以上の高さを確保します。
- 議場傍聴席に**親子傍聴席**を設けます。
- 1階 情報公開コーナーに図書受け渡しカウンターまわりに絵本閲覧コーナーを計画します。
- 2階 EVホールまわりに**子育て情報掲示コーナー**を配置します。

(7) 外国人利用者へのユニバーサルデザイン計画

- 館内案内サインに**英語併記表記**を行います。
- 案内サインは極力**ピクトグラム**を用い、文字に頼らない表記を行います。
- EV音声案内、非常警報音声案内の**多国語対応**を検討します。

(8) 発達障害者・精神障がい者へのユニバーサルデザイン計画

- 利用エリア近辺に**クールダウンスペース**(音と光を押さえた個室)を準備します。

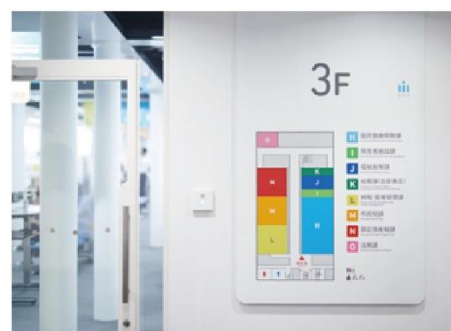
(9) トランスジェンダーへの配慮

- 男女の区別がない広めのトイレを複数配置し、出入りが目立たない配慮を行います。
- サイン・色彩に配慮**を行います。

12. サインデザインの考え方

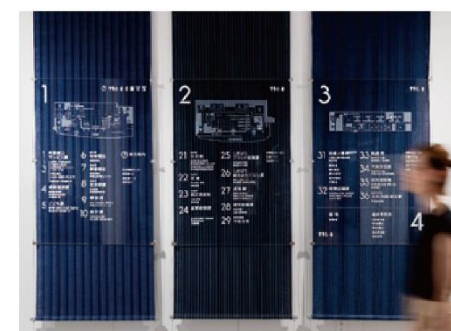
- 必要な情報を正確に得ることができるよう、表示内容を精査し、設置箇所に適したサイズとすることで直感的でわかりやすいユニバーサル・デザインに沿ったサイン計画とします。
- 庁舎全体のサインの形状、書体、記号、色彩などについて、統一したデザインコードを設定することによって来庁者が認識しやすいサインとなり、目的の場所へのスムーズな案内を可能とします。
- 来庁者が快適に施設を利用できる計画を目指します。

1 情報をシンプルに直感的に伝える



色を用い、直感的なサインとした例

2 全体に統一感がありシステム化されている



同じ素材を用い、統一感を出した例

3 サインが建築・内装デザインと調和している



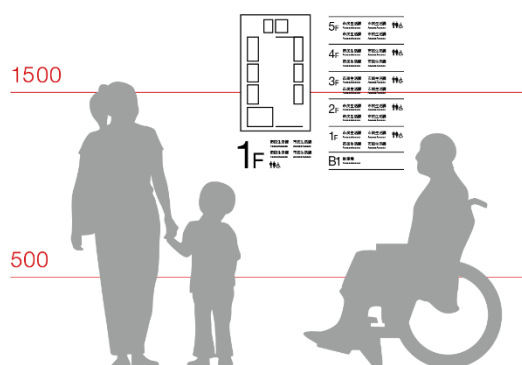
建築空間と一体感をもたせた例

|サインの表示について

色、アルファベット・数字を使うことによって、外国人の方や色盲の方にも直感的にわかるようなサイン表示とします。また、マグネットシートやシート切文字を活用し、貼り替え・更新しやすい仕様とします。

|サインの高さ

サインの表示の上下の中心を、高さ1500mmの位置に配置します。この高さは高齢者や車いすの方を考慮したもので通常よりも100mm低い高さです。また、500mm以下の情報はサインとしてほとんど機能しないのでそれ以下には基本的に配置しません。



|使用書体について

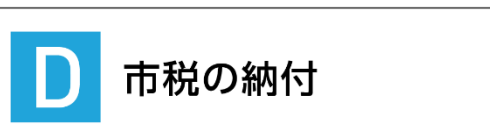
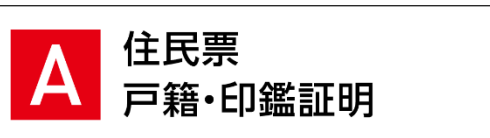
読みやすさを優先して、字母の大きいゴシック体を使用します。また、字間をややアキ気味、行間もアキ気味で文字を組むことで、遠方からでも読みやすい文字組とします。サインの種類、設置場所、表示内容から適切な太さの文字で表示します。

|ピクトグラムについて

直感的に情報を理解するのにピクトグラムは有効です。また、子どもや外国人など文字を理解しにくい方にとっても有効な手段です。建築デザイン、内装デザインを考慮して空間と調和したピクトグラムを使います。

|色について

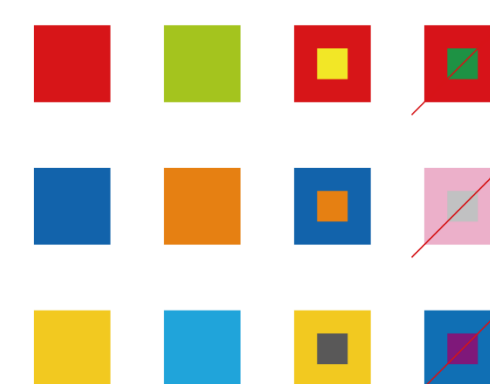
窓口を色によって区別します。色はできるだけ赤や青といった、言語化できる色とし、組みあわせた時に見にくい組み合わせは避けるようにします。また色覚障害者を考慮し、仮に色が判別できなくても、文字などで補足し機能するサインとします。



国分寺市役所
Kokubunji City Hall

入口 駐車場 総合受付
Entrance Parking Reception

0123456789



12. サインデザインの考え方

主要な動線上のサイン

外構

A 駐車場入口サイン

駐車場入口には車両にとって見やすい高さ・位置のサインを設置します。

B 駐車場内サイン

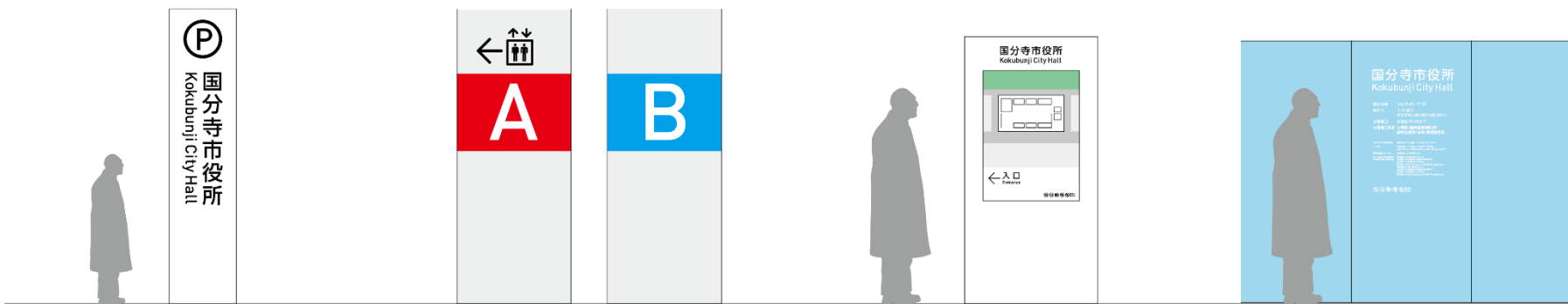
B1駐車場内の柱には、車両を停めた場所がわかるように色と番号を表示し、また、EVホールへの誘導サインも設置します。

C 総合案内サイン

エントランスや駐輪場の位置を示した総合案内サインを視認性の高い位置に設置します。

D エントランスサイン

エントランスには施設名と利用時間等を記載したサインを設置します。



室内

1 総合案内サイン

館内(フロア)の情報を俯瞰的に見れるマップを設置して、目的地の位置を知らせます。

2 誘導サイン

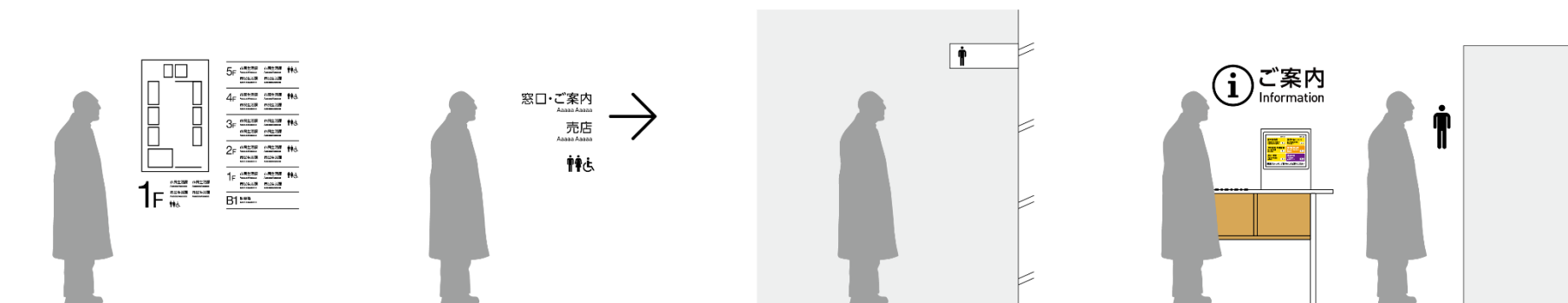
総合案内サインと定点サインを繋ぐサインです。利用者を目的地に誘導します。

3 突き出しサイン

目的地となる各室入口横に進行方向に直行する持ち出し型のサインを設置します。遠方からも目的地が視認できるようにします。

4 受付サイン・定点サイン

受付カウンターや、目的地となる各室の名称サインです。各部屋に名前をつけることで、はじめてサインによって導くことができます。



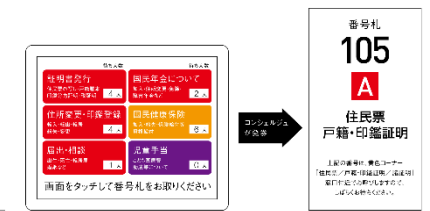
窓口案内サイン

あ コンシェルジュ・発券機

【コンシェルジュ】
発券機利用のサポート。窓口のエリアを色と番号で案内。



【発券機】
窓口のエリアを色・番号で案内する番号札を発行。

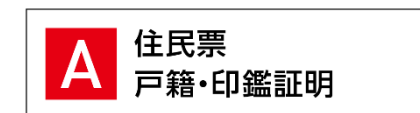


い 窓口突き出し・吊りサイン

窓口のエリアを遠くから確認でき、待合席まで誘導する。

う モニター

窓口職員の呼出し操作と連動して、呼出し番号を表示。



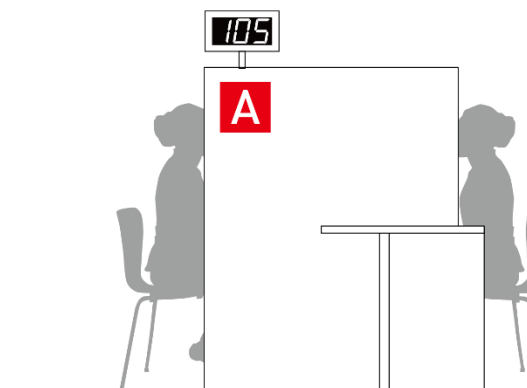
お呼出し番号 105	
証明書発行	4人
住民変更・印鑑登録	4人
届出・相談	1人
国民年金	2人

番号札105番でお待ちの方、窓口までお越しください。



え 窓口カウンター

LED表示・カウンター側面の窓口番号で待合席から位置を確認できる。



13. 執務環境計画

新庁舎の設計にあたり、職員が働きやすく良質な市民サービスを提供できる執務室レイアウトの検討を行いました。「1. 新庁舎のあるべき姿・働き方コンセプト」を設定したのち、「4. 執務室レイアウトの方針」(①執務室モデルレイアウト及び②席運用の方針)(P20)を決定し、設計に反映しています。

執務室レイアウトの方針検討にあたっては、「2. コンセプトを実現する重要な執務行動」の抽出、「3. コンセプトを具現化する5つのオフィスレイアウト施策」の設定という流れで行いました。

1. 新庁舎のあるべき姿・働き方

新庁舎のあるべき姿・働き方について、コンセプトを整理しました。



来庁者にとって満足できるサービスとは？



職員のパフォーマンスが高まる働き方は？

【市民の憩いの場】

来庁者が快適かつ有意義に過ごせる。

【ワンストップ対応】

目的まで迷わず、迅速かつ安全に、解決できる。

【市民サービスの向上】

来庁しなくても、相談や申請ができる。

【新たな価値創造】

多角的な視野で、市民・職員双方にとって、新しい価値を創造する。

【柔軟性の高い働き方】

集中・分散・休憩など、働き方を選択できる。

【コミュニケーション】

立場を越えて、分かり合える。

2. コンセプトを実現する重要な執務行動

新庁舎のあるべき姿・働き方コンセプトの実現に向け、重要な執務行動を抽出しました。複数の参加者に選ばれた執務行動は以下のとおりです。

重要な執務行動	
邪魔されずに仕事する	窓口対応する
迅速な案内対応する	突発的な事態に対応する
各課で専門的な対応をする	相談に乗る・する
メンバー間で助け合う	来庁せずに市民が手続きする
他部門の人とミーティングする	市民サービス情報を発信する
部署を超えて仕事の状況を知る・共有する	自席で電話する
災害対応	申請手続きをサポートする
わいわいがやがやアイデアを出す	WEBで窓口対応する
市民が多目的に利用する	市がイベントを開催する
クイックミーティングする	

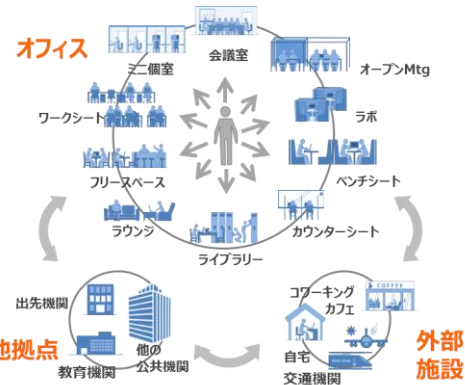
3. コンセプトを具現化する「5つのオフィスレイアウト施策」

新庁舎のあるべき姿・働き方コンセプト、それらを実現する重要な執務行動を踏まえ、以下の5つのオフィスレイアウト施策を設定し、検討を行いました。

施策①:ABWへの挑戦

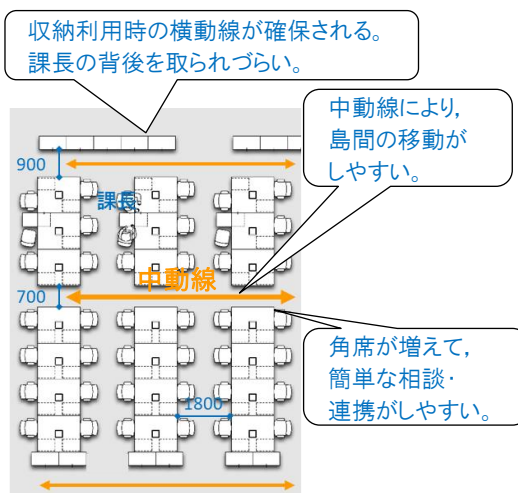
仕事内容に合わせて最適な環境を選択する

【ABW(Activity Based Working)】
時間と場所をワーカーが自由に選択できる働き方



施策②:中動線の確保

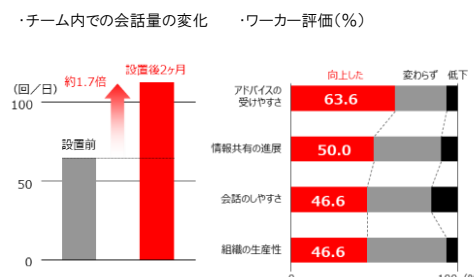
多様な人との接点を促す移動しやすい動線計画



施策③:クイックミーティング

会議室の予約なしで、素早く集まり、問題を解決

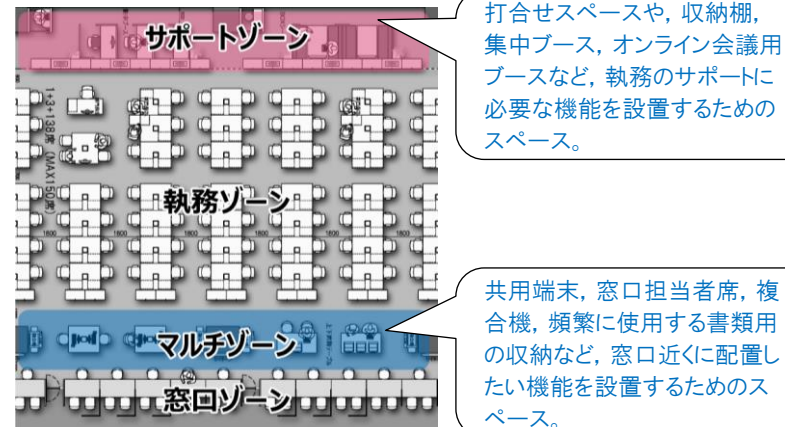
クイックミーティングの効果



チームの会話量が増え、アドバイスの受けやすさが向上する。

施策④:フレキシビリティ(可変性)

部署特性により、使い方を選擇できる



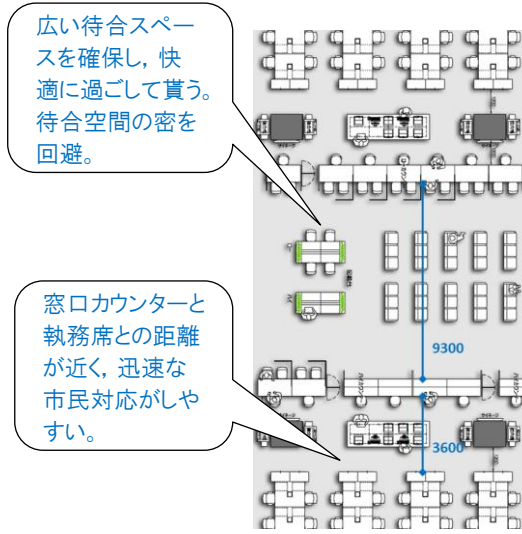
打合せスペースや、収納棚、集中ブース、オンライン会議用ブースなど、執務のサポートに必要な機能を設置するためのスペース。

共用端末、窓口担当者席、複合機、頻繁に使用する書類用の収納など、窓口近くに配置したい機能を設置するためのスペース。

サポートゾーン・マルチゾーンの詳細レイアウトは、隣接部署の意向を伺いながら検討する。

施策⑤:待合スペースの充実

市民が快適に過ごせるように、広い待合スペースを確保



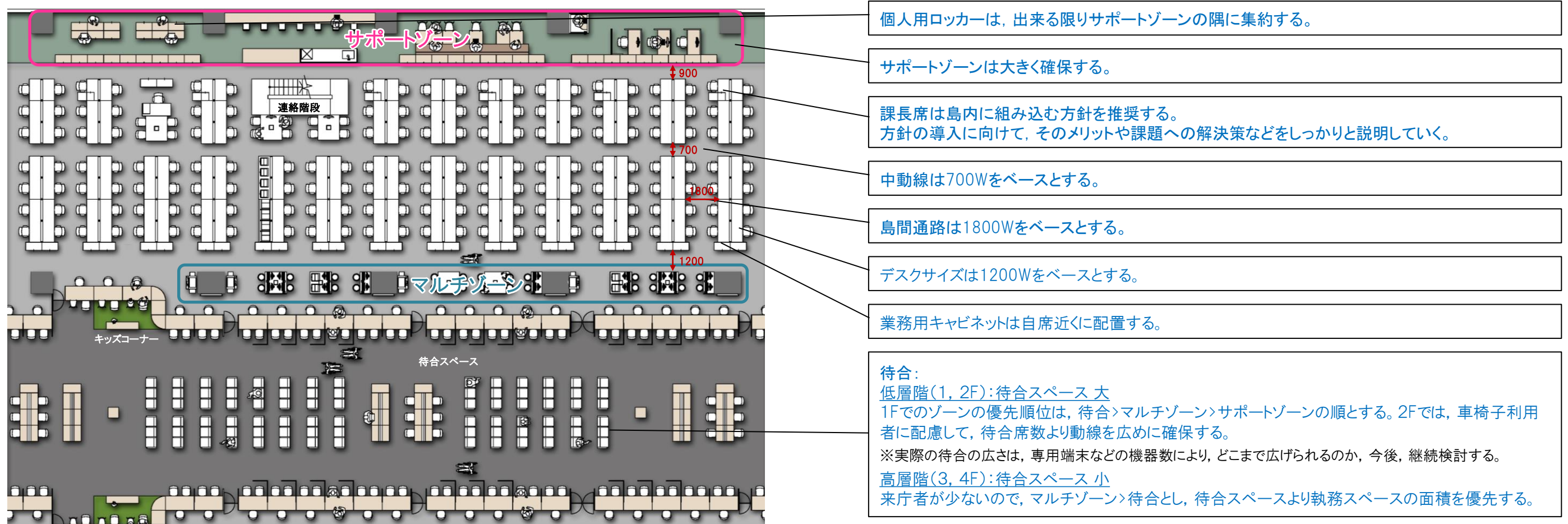
広い待合スペースを確保し、快適に過ごして貰う。待合空間の密を回避。

窓口カウンターと執務席との距離が近く、迅速な市民対応がしやすい。

13. 執務環境計画

4. 執務室レイアウトの方針

①執務室モデルレイアウト 執務環境検討会での意見交換や、職員意見を踏まえ、執務室モデルレイアウトを作成しました。作成に当たっての考え方は、以下のとおりです。席運用として、固定席レイアウト・グループアドレスの双方に対応出来ます。



- 個人用ロッカーは、出来る限りサポートゾーンの隅に集約する。
 - サポートゾーンは大きく確保する。
 - 課長席は島内に組み込む方針を推奨する。方針の導入に向けて、そのメリットや課題への解決策などをしっかりと説明していく。
 - 中動線は700Wをベースとする。
 - 島間通路は1800Wをベースとする。
 - デスクサイズは1200Wをベースとする。
 - 業務用キャビネットは自席近くに配置する。
- 待合:
 低層階(1, 2F):待合スペース 大
 1Fでのゾーンの優先順位は、待合>マルチゾーン>サポートゾーンの順とする。2Fでは、車椅子利用者に配慮して、待合席数より動線を広めに確保する。
 ※実際の待合の広さは、専用端末などの機器数により、どこまで広げられるのか、今後、継続検討する。
 高層階(3, 4F):待合スペース 小
 来庁者が少ないので、マルチゾーン>待合とし、待合スペースより執務スペースの面積を優先する。

・上記のモデルレイアウトと考え方をベースに、今後、各部門の配置、レイアウト、マルチゾーンやサポートゾーン、待合の使い方の詳細を継続して検討します。

②席運用の方針

席運用について、「固定席」「グループアドレス」「完全フリーアドレス」のメリット・デメリットを整理しました。そのうえで、デメリットの克服に向けて、どのような課題があるのか、意見交換を行いました。

	固定席	グループアドレス	完全フリーアドレス
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 人を見つけやすい、状況を確認しやすい。 業務内容の確認など、席が固定されている方が効率良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 色々な職員とコミュニケーションが図れる。 プロジェクトや業務内容によって席を決められる。 課のまとまりはキープしつつ自由な席のレイアウトも使える。 荷物が減る、紙が減る。 	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス化につながる。 机上がきれいにする意識が出る。 プロジェクトや業務内容によって席を決められる。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 紙の削減が進みづらい。 集中したい時、周りがうるさいとイライラする。 	<ul style="list-style-type: none"> フリーといいながら固定化しやすい、ルールが必要。 内線の運用方法はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 電話対応はどうか不安。 苦情などのトラブルに、組織で対応できない。 人事管理がしにくい。
克服に向けた施策	<ul style="list-style-type: none"> クリアデスクのルール化 サポートゾーンの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 席決めルール化、ローテーション化 (ex 毎日同じ席に座らない、くじ引き、など) 全職員に内線に使える携帯電話を貸与する。→テレワークへも対応 	<ul style="list-style-type: none"> 人事管理しやすいシステムを構築する。 緊急時の集合場所を決めておく。

・執務環境検討会の結論としては、グループアドレスを積極的に目指す前提で進め、上記の重要度の高い課題についての解決策を継続して検討することとします。

14. 電気設備計画

- 災害対策拠点機能強化のため、電力の多重化を図り、高圧2回線受電方式とします。
- 自家発電設備(非常用発電機)は都市ガス混焼非常用ディーゼル発電機とし、停電時の電源供給の長期化を図ります。
- 太陽光発電設備を配置し、CO2削減に寄与します。また、高効率機器と省エネルギー制御の組み合わせにより、設備機器のエネルギーを抑える計画とします。

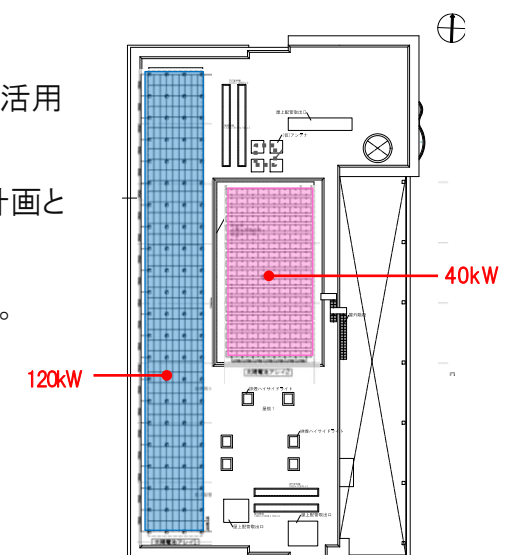
電気設備概要

設備名称	設備概要
電力引込み	高圧6.6kV 本線・予備電源線2回線受電方式
受変電設備	キュービクル式受変電設備(屋外) 真空遮断器(VCB) モールド式変圧器 進相コンデンサ 直列リアクトル トランス設備容量 3,400kVA(单相:900kVA, 三相:2,500kVA)
自家発電設備	エンジン 都市ガス混焼ディーゼル発電機 運転時間 7日間(混焼), 3日間(液体専焼) 燃料 地中オイルタンク 13,000L 設置場所 5階屋外設備スペース(発電機), 1階オイルポンプ室(オイルポンプ)
太陽光発電設備	発電容量 160kW程度
直流電源設備	用途 受変電制御・操作用電源, 非常照明・誘導灯用電源
雷保護設備	新JIS, 建築基準法に基づく
幹線・動力設備	单相電源 200/100V EM-CETケーブル 三相電源 200V EM-CETケーブル
電灯設備	電源 单相200/100V 照明器具 LED照明器具 照明制御 昼光制御, 人感制御, スケジュール制御 設計照度 執務室500lx
非常照明・誘導灯設備	電池別置型
コンセント設備	電源 单相200/100V 方式 ハーネスジョイント+OAタップ(執務室)
電気自動車用充電設備	地上駐車場(庁内用) 普通充電器:5台, 急速充電器:1台 地下駐車場(来庁者用) 将来対応として配管スペース確保
拡声設備	非常業務兼用型
テレビ共同受信設備	UHF, BS/CS110°, AM, FM + CATV用配管
自動火災報知設備	R型受信機, アナログ式感知器(自動試験機能付)

設備名称	設備概要
誘導支援設備	インターホン設備(風除室, 相談室など) 緊急通報設備(相談室など) トイレ呼出設備(バリアフリートイレ) 音声誘導設備(風除室, バリアフリートイレなど)
通信引込み	2方向引込み
その他	構内情報通信網設備 構内電話交換設備 電気時計設備 マルチサイン設備 出退表示設備 映像・音響設備 防犯カメラ設備 駐車場管制設備 防犯・入退室管理設備

太陽光発電設備について

- 屋上に160kW程度の太陽光パネルを設置し、庁舎機能維持に活用しCO2削減に寄与します。
- 電力インフラ途絶時にも太陽光発電電力を有効に活用できる計画とし、災害時のエネルギーバックアップの強化を図ります。
- 発電量を計測し、エントランスモニター等に表示・見える化します。



屋上太陽光パネルレイアウト

15. 機械設備計画

- シンプルなシステムとし、維持管理のしやすさに配慮した計画とします。
- 省エネルギー及び、災害時の事業継続性に配慮した計画とします。

空気調和設備概要

- 熱源は中央熱源方式とし、高効率な熱源機器を採用することで、環境に配慮し、ランニングコストの低減を図ります。
- 空気調和設備は室用途に応じて空調機の方式を変え、事業継続性と省エネルギーのバランスの取れた計画とします。
- 設備システムの保守管理機能の向上、省エネルギーと快適性の調和を目的にBEMSを導入し、ライフサイクルコストの低減に寄与する計画とします。
- 設備機器は汎用性がある機器を採用し、更新のしやすさに配慮します。

	設備概要
熱源設備	空冷モジュールチラー(大温度差送水方式 $\Delta t=7^{\circ}\text{C}$) 空冷ヒートポンプパッケージエアコン
空気調和設備	執務室・議場: 単一ダクト空調方式 (VAV制御単位: 50~100m ²) 空調機: 全熱交換器組込型、温湿度制御 CO ₂ 濃度による外気量制御、外気冷房 エントランスホール: 床吹出空調方式 会議室等: パッケージ空調方式(天井カセット) + 直膨コイル付全熱交換器 サーバー室: パッケージ空調方式 床置形
換気設備	第1種換気方式、第3種換気方式 各階空調機に外気取入れ 空調機以外は全熱交換器もしくは換気ファンによる換気
排煙設備	地下駐車場: 機械排煙 地上階: 自然排煙
自動制御	中央監視設備、ビルマエネルギーマネジメントシステム(BEMS) デジタルサイネージ(エネルギーの見える化)
省エネルギー手法	窓の開閉による自然換気、外気冷房システム、 ナイトパーズ、CO ₂ センサーによる外気量制御

(*)BEMS: (Building and Energy Management System)
ITを利用して照明や空調などを制御し、最適なエネルギー管理を行うシステム

給排水衛生設備概要

- 給水は上水、雑用水(トイレ洗浄用・散水用)、加湿の3系統とします。
- 上水受水槽には感震器及び緊急遮断弁を設け、地震時に配管が破損した場合でも貯留されている水を利用できるように災害時用水栓を設けます。
- 雨水は貯留・処理してトイレ洗浄水や散水用として利用する計画とします。
- 国分寺市雨水浸透施設技術基準及び東京都豪雨対策基本方針より、雨水を貯留および浸透させることで湧水への配慮と豪雨への対策を両立する計画とします。

	設備概要
給水設備	引込: 敷地南側の上水本管から新設として50Aを引き込む 上水(市水): 外構の上水受水槽(4.0m ³ ×2基)から加圧給水方式(非常電源対応)にて供給 雑用水(雨水・市水): 雨水貯留槽からろ過装置を介して雑用水槽(地下二重ピットを利用・140m ³ 7日分)に貯留し、加圧給水方式にてトイレの洗浄、散水用として供給
給湯設備	手洗・洗面: 貯湯式電気温水器 シャワー: 潜熱回収型ガス湯沸器
排水設備	公共下水道放流(消防署敷地内の排水柵に接続) 建物内: 汚水・雑排水合流 屋外: 生活排水・雨水分流 非常用排水槽(140m ³ 7日分)設置 雑排水槽(スロープ地流し用16m ³)
都市ガス設備	都市ガス(13A)供給地域 中圧ガスA引込: 100A 非常用発電機(ガス混焼型ディーゼル)に中圧ガスを供給 給湯器等の低圧ガス供給先は敷地内ガバナより減圧して供給
衛生器具	在来衛生器具(中水対応洗浄弁)
消火設備	屋内消火栓(全館) 連結送水管(地階及び3階以上) 連結散水設備(地階)(泡消火部分を除く) 泡消火設備(特定駐車場用泡消火設備)(駐車場) 消火器設備(全館) 消火水槽(地下ピット: 有効10.5m ³ 以上)
雨水利用設備	屋根降雨水を雑用水利用

16. 昇降機計画

- 各フロア南北対称のわかりやすい位置にエレベーターを配置します。
- 2階窓口へのスムーズなアクセスを可能にするため、1階・2階をつなぐエスカレーターを配置します。
- 各フロアからの迅速な救急動線を確保するため、南北各1基はストレッチャーを入れることのできる大型のエレベーターとします。

EV1a エレベーター1a

乗用
 積載質量 : 1,000kg
 定員 : 15名
 かごサイズ: 間口1,600mm 奥行1,500mm
 出入口方向: 1方向
 出入口扉 : 中央開き
 出入口幅 : 900mm
 停止階 : B1~5F(停止階数:6階)

EV1b エレベーター1b

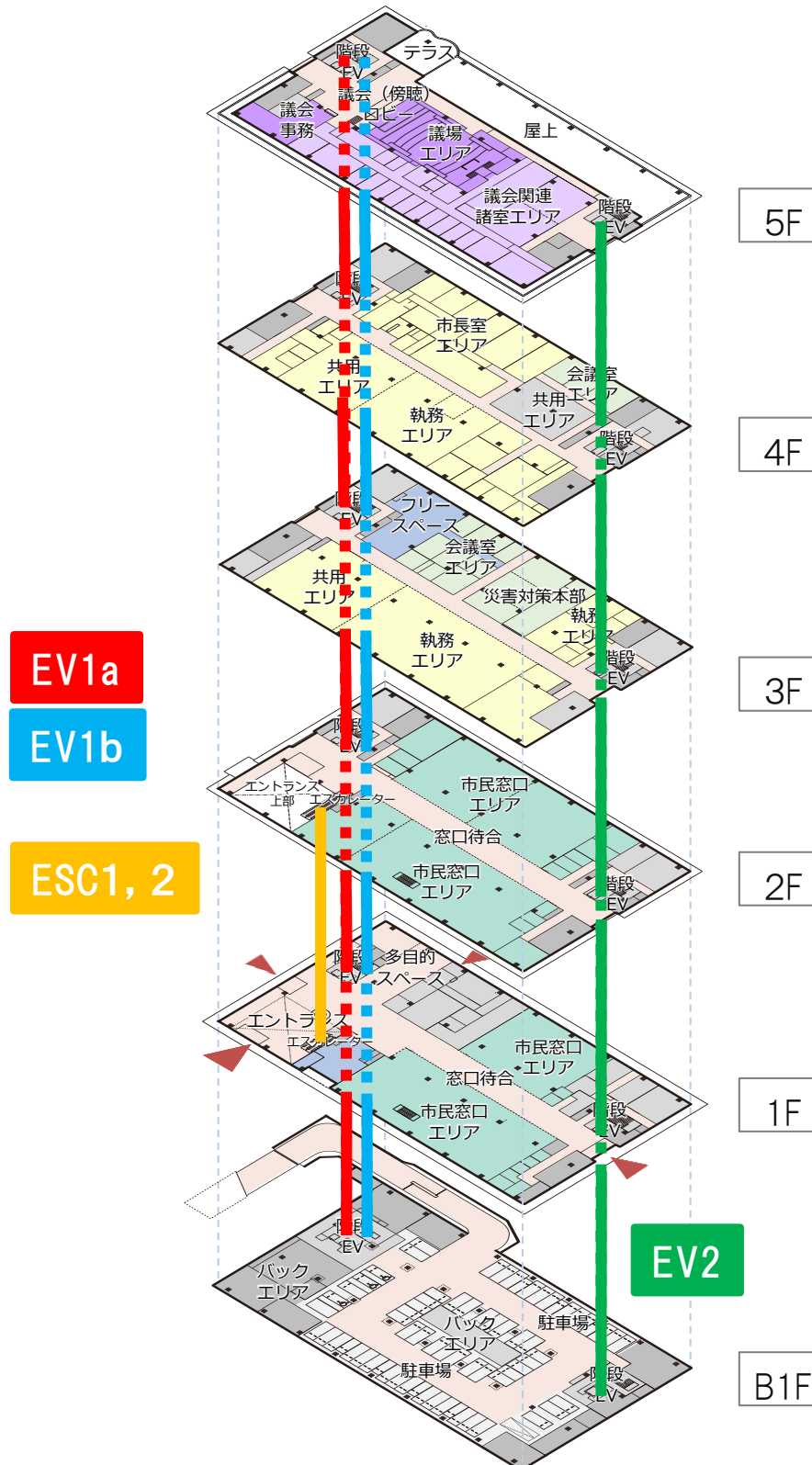
乗用・人荷用
 積載質量 : 1750kg
 定員 : 26名
 かごサイズ: 間口1,500mm 奥行2,500mm
 出入口方向: 1方向
 出入口扉 : 中央開き
 出入口幅 : 1,200mm
 停止階 : B1~5F(停止階数:6階)
 ストレッチャー対応あり

EV2 エレベーター2

乗用・人荷用
 積載質量 : 1,750kg
 定員 : 26名
 かごサイズ: 間口1,500mm 奥行2,500mm
 出入口方向: 1方向
 出入口扉 : 中央開き
 出入口幅 : 1,200mm
 停止階 : B1~5F(停止階数:6階)
 ストレッチャー対応あり

ESC1, 2 エスカレーター1, 2

踏段幅 : 600mm
 傾斜角度 : 30度
 階高 : 5,000mm
 設置階 : 1~2F



17. 外観立面パース

【デザインコンセプト】

- 1) 歴史と今と未来をつなぐ
- 2) 地域に調和する庁舎
- 3) 地域資源の活用



1) 歴史と今と未来をつなぐ
国分寺崖線をイメージする水平
ラインを強調した外観デザイン

2) 地域に調和
5階をセットバックさせて圧迫感を軽減
5階外壁の色の明度を落とし視覚的なボリューム分割を図る

1) 歴史と今と未来をつなぐ
日本古来の知恵である簾をモチーフにした
日射遮蔽ルーバー

▼隣接公文書館高さ

西面外観

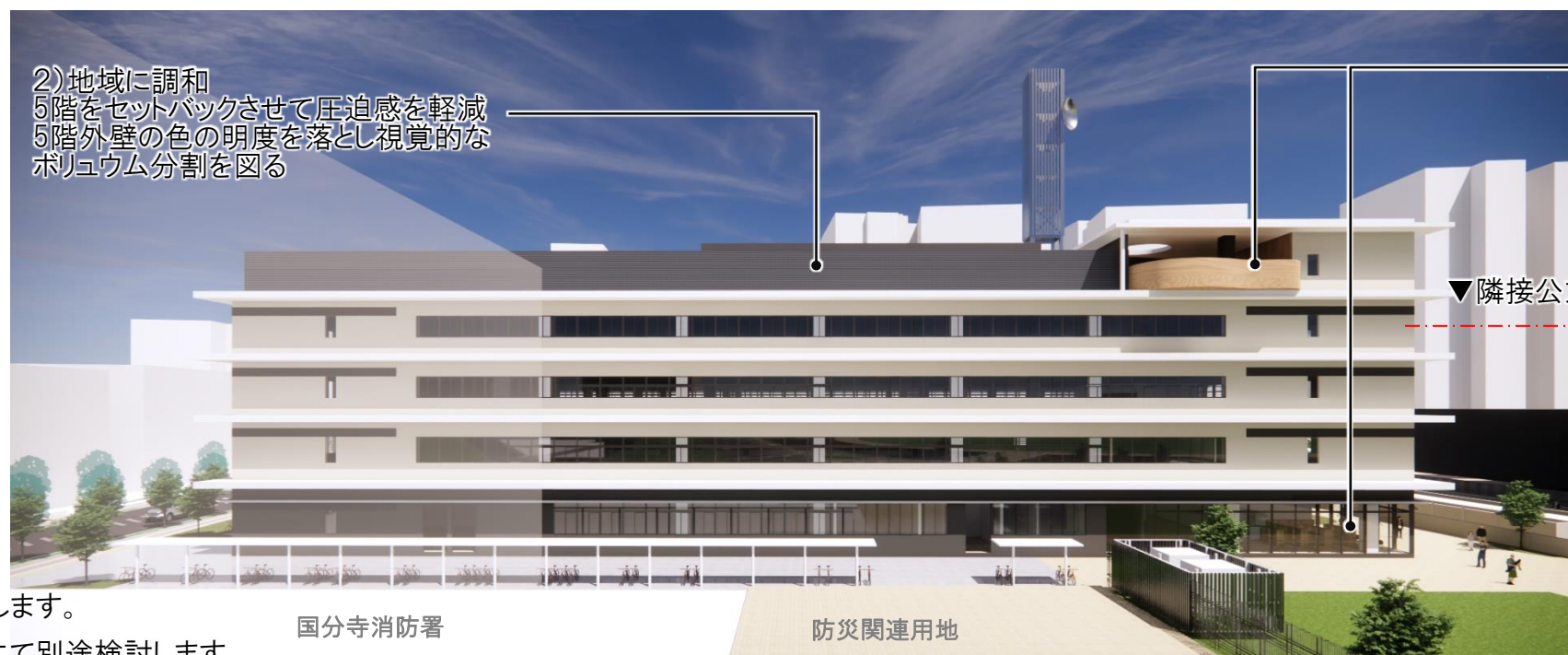


2) 地域に調和
5階をセットバックさせて圧迫感を軽減
5階外壁の色の明度を落とし視覚的な
ボリューム分割を図る

北面外観



西面外観



2) 地域に調和
5階をセットバックさせて圧迫感を軽減
5階外壁の色の明度を落とし視覚的な
ボリューム分割を図る

1) 歴史と今と未来をつなぐ
市民開放スペースには、アイコンとなる
市民に愛されるデザインを展開する

▼隣接公文書館高さ

東面外観

※外観色彩については実施設計で検討し決定します。

※屋上の防災無線アンテナについては所管課にて別途検討します。

国分寺消防署

防災関連用地

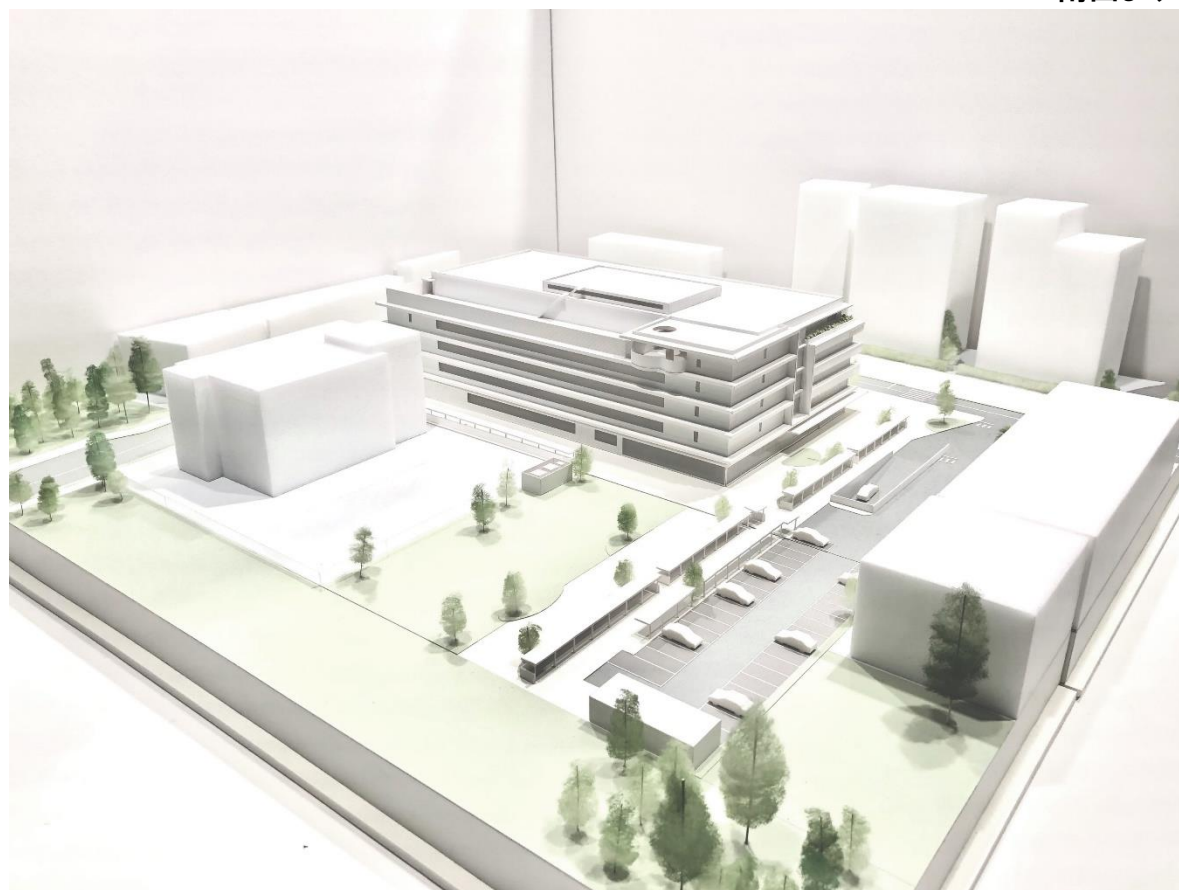
模型写真



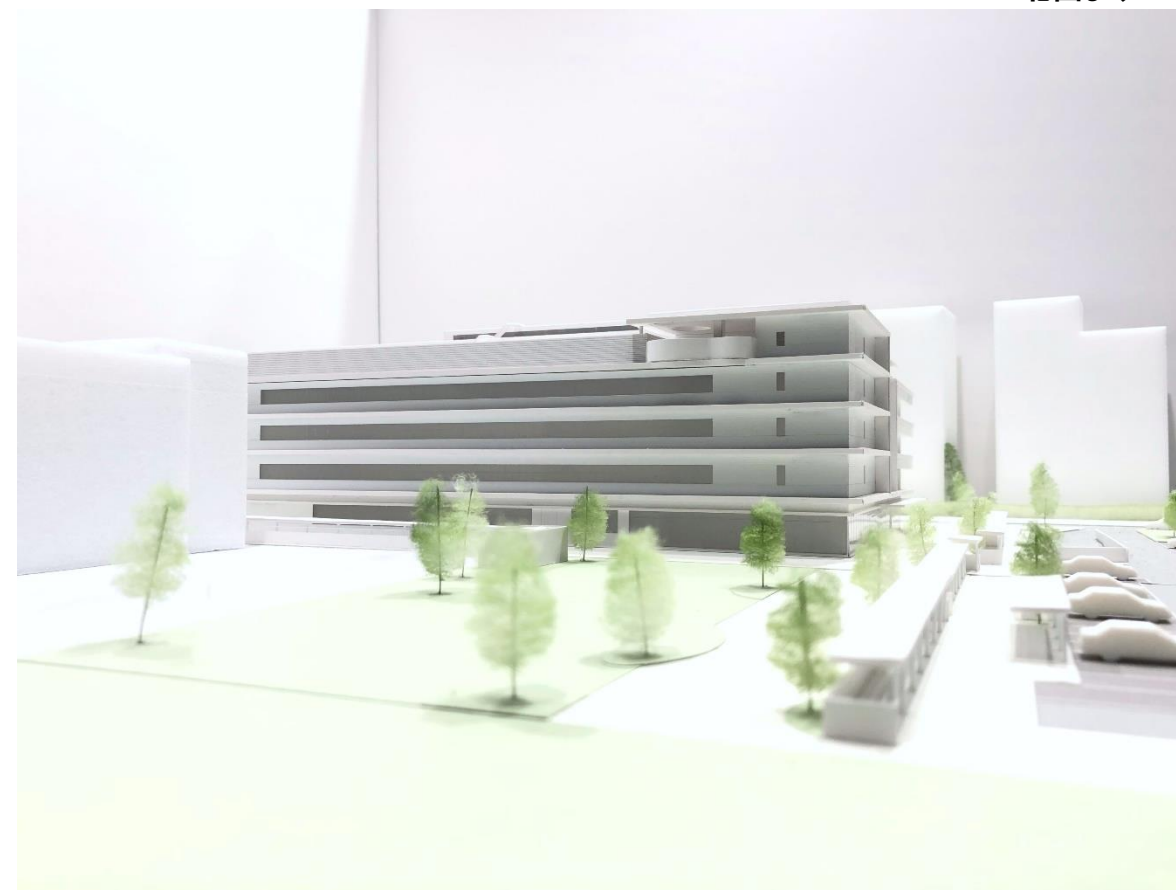
南西より



北西より



北東より



北東(公園)より